

香川県立保健医療大学

年報

2025

目 次

1. 名称・沿革等	1～2
(1) 名称	
(2) 大学の構成	
(3) 所在地	
(4) 沿革	
2. 組織図	3
3. 基本理念・教育目標・3つのポリシー	4～13
(1) 基本理念	
(2) 保健医療学部教育目標	
(3) 看護学科の3つのポリシー	
(4) 臨床検査学科の3つのポリシー	
(5) 保健医療学研究科の目的	
(6) 保健医療学研究科看護学専攻の3つのポリシー	
(7) 保健医療学研究科臨床検査学専攻の3つのポリシー	
4. 教育内容	14～21
(1) 保健医療学部	
(2) 保健医療学研究科	
(3) 実習施設	
(4) 学部・大学院 学年暦	
5. 教職員の状況	22～26
(1) 役職員	
(2) 教職員数	
(3) 教員の研究内容	
(4) 教員の研究業績	
6. 学生の状況	27～31
(1) 入学者選抜試験及び入学者の状況	
(2) 学部・大学院在学生の状況	
(3) 出身県別学部学生数	
(4) 令和7年3月卒業生・修了生の進路	
(5) 国家試験の合格状況	
(6) 奨学生の状況	
(7) 学生相談	
(8) 課外活動	
7. 図書館の状況	32
(1) 運営状況	
(2) 図書館資料の整備状況	
(3) 利用状況	
8. 地域との連携・広報・情報公開	33～35
(1) 地域連携推進センター事業	
(2) 公開講座	
(3) 施設開放	
(4) オープンキャンパス	
(5) 高校等への出張講座	
(6) 委員等への就任及び講師等の派遣	
9. 財務状況	36
(1) 令和7年度 歳入歳出予算	
(2) 外部資金の受け入れ状況	
10. 施設の状況	37～38
(1) 敷地面積	
(2) 建物	
(3) 建物配置図	
11. 研究活動	39～66
12. 管理運営	67～88

名称・沿革等

(1) 名称

香川県立保健医療大学 (平成16年4月開学)

(2) 大学の構成

【保健医療学部】

●看護学科

入学定員: 70人

卒業後に取得できる資格: 看護師国家試験受験資格

●臨床検査学科

入学定員: 20人

卒業後に取得できる資格: 臨床検査技師国家試験受験資格

在学中に取得できる資格: 健康食品管理士認定試験受験資格

(所定科目の履修者)

遺伝子分析科学認定士(初級) 認定試験受験資格

食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格

【保健医療学研究科】

●看護学専攻(博士前期課程)

入学定員: 25人

・研究コース: 5人

・実践者養成コース(公衆衛生看護学): 10人

修了後に取得できる資格: 保健師国家試験受験資格

・実践者養成コース(助産学): 10人

修了後に取得できる資格: 助産師国家試験受験資格

受胎調節実地指導員(看護師資格を有する者)

新生児蘇生法講習会修了認定資格

●看護学専攻(博士後期課程)

入学定員: 2人

●臨床検査学専攻(博士前期課程)

入学定員: 3人

●臨床検査学専攻(博士後期課程)

入学定員: 2人

(3) 所在地

香川県高松市牟礼町原281番地1

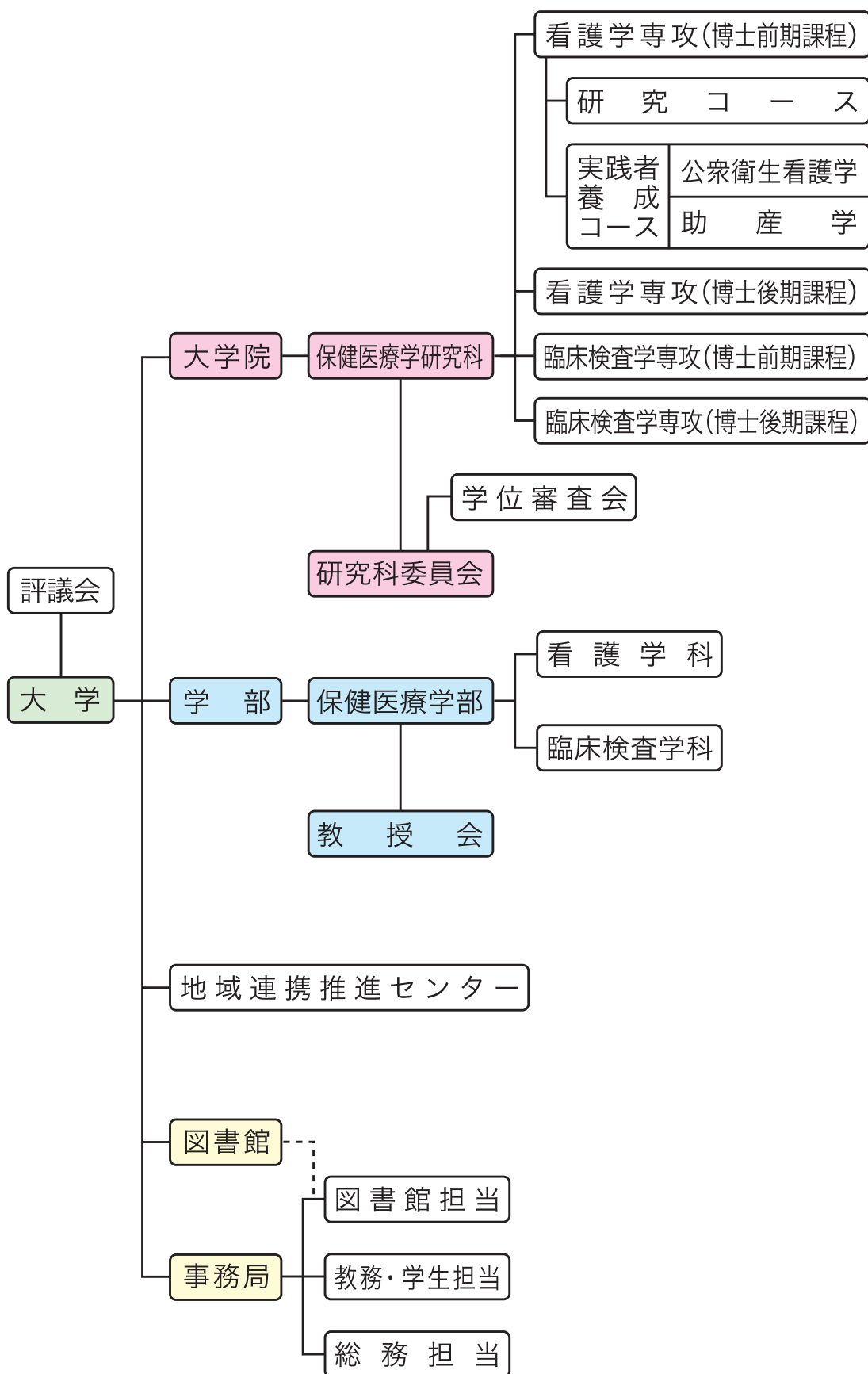
(4) 沿 革

①香川県立医療短期大学

- 平成 3年 3月 「香川県21世紀長期構想」事業計画で医療従事者の教育機関整備の検討を記述
- 平成 7年 4月 県立医療短期大学設立準備室設置
- 10月 県立医療短期大学整備基本構想策定協議会設置
- 平成 8年 2月 県立医療短期大学整備基本構想策定
- 12月 牟礼町原地区に設置決定
- 平成 9年 10月 建築工事起工式
- 12月 県立医療短期大学設置準備委員会設置
- 平成10年 4月 文部大臣へ県立医療短期大学設置認可申請
- 12月 文部大臣設置認可
- 県立医療短期大学設置条例公布
- 平成 11年 4月 県立医療短期大学開学（第1期生入学）
- 平成 14年 4月 県立医療短期大学専攻科設置
- 平成 19年 3月 県立医療短期大学閉学

②香川県立保健医療大学

- 平成 12年 6月 香川県新世紀基本構想で県立医療短期大学の4年制大学への移行について検討を記述
- 平成 13年 5月 香川県立医療短期大学4年制化検討委員会設置
- 11月 香川県立医療短期大学4年制化検討委員会提言
- 平成 14年 5月 大学設置基本構想策定委員会設置
- 11月 県立保健医療大学設置基本構想策定
- 県立大学設置準備委員会設置
- 平成 15年 4月 文部科学大臣に県立保健医療大学設置認可申請
- 11月 文部科学大臣設置認可
- 12月 香川県立保健医療大学設置条例公布
- 平成 16年 4月 県立保健医療大学開学（第1期生入学）
- 平成 20年 3月 県立保健医療大学第1期生卒業
- 平成 21年 4月 県立保健医療大学大学院保健医療学研究科（修士課程）設置
- 保健医療学部看護学科入学定員を50名から70名に増員
- 平成 23年 3月 大学院保健医療学研究科第1期生修了
- 4月 大学認証評価機関から「大学基準に適合している」との認定を受ける
- 地域連携推進センターを設置
- 平成 24年 4月 助産学専攻科を設置
- 看護学科学部教育に保健師選択制導入
- 看護学科3年次編入学制度の廃止
- 平成 25年 4月 大学院保健医療学研究科に専門看護師コース（精神看護）を設置
- 平成 29年 4月 大学院保健医療学研究科保健医療学専攻（修士課程）の学生募集停止
- 大学院保健医療学研究科に看護学専攻（修士課程）、臨床検査学専攻（博士前期課程）及び臨床検査学専攻（博士後期課程）を設置
- 平成 31年 4月 大学院保健医療学研究科に看護学専攻（博士前期課程）及び看護学専攻（博士後期課程）を設置
- 令和 2年 4月 看護師基礎教育の4年制を開始
- 令和 4年 4月 大学院保健医療学研究科看護学専攻博士前期課程に実践者養成コース（公衆衛生看護学）及び（助産学）を設置
- 令和 5年 3月 助産学専攻科廃止



(1) 基本理念

香川県立保健医療大学は、生命の尊厳を畏敬する深い人間愛を基盤として、教育、研究、地域貢献を推進します。

生涯にわたる知の探究と自己の能力を開発していく力を有し、地域の保健医療をリードする人材を育成します。

国際的視野を有し、保健医療の発展に寄与する先駆的研究を進めます。

地域のニーズに応える保健医療に関する情報発信や教育研究拠点として活動します。

これらを通じ、「県民に一目置かれる大学」として、人々の健康で心豊かな未来を拓きます。

(2) 保健医療学部教育目標

- 1 高い倫理観と教養を備えるとともに、深い人間愛に基づいて生命の尊厳を重んじることができ人間性豊かな人材を育成する。
- 2 看護学・臨床検査学に関する専門的知識・技術に基づいた総合的判断力を備え、実践することができる人材を育成する。
- 3 科学的思考力に基づいた豊かな創造性と探究心を持ち、生涯にわたり自らの能力の向上に努め、社会環境の変化や医療の高度化・多様化に適切に対応できる人材を育成する。
- 4 保健・医療・福祉における他の専門職と連携協働して、自らの役割と社会的使命を果たすことができる人材を育成する。
- 5 地域や国際社会の特性や問題を広い視野で理解し、多様な保健・医療・福祉の課題に適切に対応し、保健医療の向上に主体的に貢献できる人材を育成する。

(3) 看護学科の3つのポリシー

①ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

看護学科では、以下に示された能力を卒業までに修得することを重視して成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認め、学士（看護学）の学位を授与する。

- 1 一人ひとりの人間を総合的に理解し、互いに成長し合える関係形成ができる基礎的能力を身に付けている。
- 2 人の尊厳と権利を擁護する看護について探究し、倫理的判断に基づいて行動できる基礎的能力を身に付けている。
- 3 看護の対象と状況を的確にアセスメントし、根拠に基づく看護が実践できる基礎的能力を身に付けている。
- 4 看護の実践・研究・教育の場で、将来、論理的に課題を探究し対応できる基礎的能力を身に付けている。
- 5 看護の対象を取り巻く保健・医療・福祉チーム員の役割を理解し、人々と連携協働しリーダーシップが発揮できる基礎的能力を身に付けている。
- 6 常に変化する社会に関心を寄せ、地域における看護の課題を探究し、新たな看護を創造できる基礎的能力を身に付けている。
- 7 看護を学ぶ自分と真摯に向き合い、看護専門職として誇りと責任をもって実践し成長し続ける基礎的能力を身に付けている。

②カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

看護学科では、ディプロマ・ポリシーの実現を目指して、以下の方針（考え方）でカリキュラムを編成する。

進級に関しては、各学年で定められた単位を修得する必要がある「進級制」を採用する。

- 1 看護学の学修が、基礎から応用および専門に向けて、段階的に積み上がるように科目編成するとともに、看護学周辺領域の学修が、看護学の学修に関連づけられるように科目を設定し配置する。

全科目は、＜基礎科目群＞と＜看護専門科目群＞に大きく区分する。

＜基礎科目群＞は、「自然」「人間」「社会」「情報」「外国語」「健康」に区分する。

＜看護専門科目群＞は、「看護学総論」「看護技術論・臨床推論」「看護過程論」「健康レベル別看護論」「発達段階別看護論」「メンタルヘルス看護論」「地域・在宅看護論」「看護発展論」「看護学実習」「看護ゼミナール・看護研究」に区分する。

- 2 看護実践能力が4年間で「基礎－応用－統合」と着実に獲得できるように看護学実習を配置する。

1年次前期から「看護学導入実習」（1週間）によって看護を学ぶ動機づけを図り、2年次修了までに看護実践能力の基礎形成が確実になるように「看護技術論実習」（2週間）と「看護過程論実習」（4週間）を配置する。

3年次は、対象と場の特性に応じて展開できる看護実践能力に発展させるために「発達段階別看護論実習」（母性、小児、老年を各2週間）と、「メンタルヘルス看護論実習」（2週間）「在宅看護学実習」（2週間）を配置する。

4年次は、これまでに獲得してきた知識・技術と経験を「健康レベル別看護論実習」（3週間）と「看護学総合実習」（3週間）に統合させる。

- 3 1年次から4年次までの看護学実習前後に演習を配置し、看護師が行う「臨床推論・臨床判断」について事例を使って学修し、他の演習および実習の学びと統合させながら「根拠に基づく基礎実践能力」の獲得につなげる。演習は、学年を超えた学生同士・教員・臨床看護師の構成で行い、「連携協働する能力」「成長し続ける能力」の獲得につなげる。
- 4 地域貢献への志向性を培うために、1年次から、地域包括ケアと看護の役割拡大への関心及び理解が段階的に深まるように科目設定を行い、3年次以降に、「連携協働する能力」と「地域の看護を創造する能力」に発展させる。さらに、学生が主体的に、県内外の地域で暮らす人々に対する健康ボランティア活動を計画して実施する「地域健康サポーター実習」を2年次～4年次の自由時間内で実践する。
- 5 学生の自律性と創造性が発揮できるように、自己学修、グループ討議、発表会など多様な学修形態を採り入れるとともに、個人およびグループによる学修時間が確保できるように科目時間数設定と時間割編成を行う。

また、1年次「看護ゼミナールⅠ」で課題探求能力の基礎作りを行い、3年次「看護ゼミナールⅡ」と、4年次「看護研究」の課題探求能力の発揮につなげるようにする。

③アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- 1 科学的思考力を発展させる基礎学力を有している人
- 2 人間に関心があり、人との関わりに喜びを感じる人
- 3 状況判断ができ主体的に行動できる人
- 4 地域の看護実践の発展に貢献したい人

(4) 臨床検査学科の3つのポリシー

①ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

臨床検査学科では、以下に示された能力を卒業までに修得することを重視して成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認め、学士（臨床検査学）の学位を授与する。

- 1 豊かな人間性と高い倫理観を身に付けている。
- 2 臨床検査に必要な専門的な知識・技術と実践能力を身に付けている。
- 3 臨床検査学発展のために、自らの能力の向上に努め、データ管理力や科学的思考力を用いて研究できる基礎的能力を身に付けている。
- 4 国際感覚を備え、臨床検査を通して、地域社会に広く貢献できる能力を身に付けている。
- 5 医療・環境・食品・保健分野などで、他職種と連携しながら、幅広く活躍できる能力を身に付けている。

②カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

臨床検査学科では、ディプロマ・ポリシーの実現を目指して、以下の方針(考え方)でカリキュラムを編成する。

進級に関しては、各学年で定められた単位を修得する必要がある「進級制」を採用する。

- 1 臨床検査学修の効率化を目指して、基礎科目群から臨床検査専門科目群へと積み上がる科目構成とする。また、臨床検査に関連する領域の学修も含め、社会において幅広く活躍できる能力も培える科目配置とする。

全科目は、＜基礎科目群＞と＜臨床検査専門科目群＞に大きく区分する。

＜基礎科目群＞は、「人文科学」、「社会・健康科学」、「自然科学」、「外国語」、「情報科学」、「健康科学」、「総合科目」及び「専門基礎」に細区分している。

＜臨床検査専門科目群＞は「分析検査学」、「形態検査学」、「検査情報解析検査学」、「総合検査学」、「臨地実習」に細区分している。

- 2 基礎科目群として、高い倫理観をもつ豊かな人間性を養うために哲学、倫理学などの人文科学系科目と、社会学、経済学などの社会科学系科目を配置し、さらに高等学校での学習内容を確認し、専門領域への橋渡しとする目的で、物理学、化学、生物学などの自然科学系科目と生理学、生化学などの専門基礎科目を配置する。また、情報化社会への対応のために検査データ管理に必要な情報科学を配置した。国際的視野を持って活動できる人材育成のため、英語と中国語を配置しており、特に、英語学習では、基礎英語、英会話、医療英語、文献などの読解力を養う。これらに加えて、地域の健康活動に貢献できる人材の養成を目指して、健康科学科目と教養講座・香川を配置する。さらに、専門基礎科目は、健康、疾病、病態を広く理解するとともに、人体の構造と機能を系統的に理解し、臨床検査についての専門知識、技術、医療チームとしての役割、他職種との連携を学修する目的で科目を構成し、医療機器の取り扱いに重要な医用電子工学・医用電子工学演習を配置している。また、国際的視野を広げるために国際保健論を設け、他職種との連携能力を修得するために、組織論と地域チーム医療論を配置している。
- 3 臨床検査専門科目群は、専門的知識・技術、科学的思考と研究能力を修得するため、検査結果や実験結果を総合的・多角的に判断分析、管理運営する基礎的能力及び検査技術を修得する目的で科目構成する。早期に学習への興味やモチベーションを高めることを目的として、検査学概論、臨床検査体験実習、臨床医学Iなどの科目を配置している。また、医療の高度化や安全管理・社会環境の変化に対応すべく、検診検査学、生殖補助

医療技術論、リスクマネジメント、健康食品学などの科目も履修可能であり、臨床検査技師の業務範囲の拡大内容についても修得できるように、医療安全管理学を中心に学内実習・演習を充実させている。

臨地実習は、臨地実習ガイドラインをもとに、実習施設との綿密なプログラム確認を行うことにより、総合的実践能力を高められる内容の科目編成とする。医療機関等で具体的・個別的に臨床検査業務や多職種連携業務等を実践することで、医療従事者として必要とされる倫理観や責任感の修得も目指す。一方、臨地実習前には、各領域の学内実習科目において臨地実習到達度評価を実施し、実習に必要な知識、技能や接遇能力を習得しているのかの確認を行い、臨地実習を行うことが可能な水準に達しているかの能力評価を行う。

さらに、卒業研究は、少人数制で実施することで、科学的思考力、研究能力、及びデータ管理能力が高められる指導を行う。また、所定科目履修者は在学中に、健康食品管理士、遺伝子分析科学認定士及び食品衛生管理者・食品衛生監視員の資格取得が可能な科目体制を設けている。

③アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- 1 論理的思考に必要な基礎学力を有している人
- 2 責任感と協調性があり、主体的に行動できる人
- 3 知的好奇心が旺盛で、科学的な観察力を持つ人
- 4 臨床検査技術を基盤に、地域の多様な分野で活躍したい人

(5) 保健医療学研究科の目的

人々の健康と自立の支援を基本理念として、保健医療の分野においてより高度で専門的な学術理論及び実践能力を修得するとともに、包括的な判断能力と指導力を有する高度専門職業人を育成することにより、保健・医療・福祉が連携した質の高い総合的サービスを提供し、高度な専門知識を持ち、新規かつ独創的な研究成果を発信する研究能力を持つ教育者・研究者を育成することにより、地域の保健医療の質向上、人々の健康増進、ひいては、健康長寿社会の推進や次世代育成支援に寄与することを目的とする。

(6) 保健医療学研究科看護学専攻の3つのポリシー

①ディプロマ・ポリシー（修了の認定に関する方針）

◆博士前期課程

修了要件となる単位を修得するとともに、必要な研究指導を計画的に受けた上で修士論文（課題研究論文）を作成し、保健医療学研究科看護学専攻が行う修士論文（課題研究論文）の審査及び最終試験に合格し、下記の条件をすべて満たす者に修士（看護学）の学位を授与する。

【研究コース】

- 1 研究課題を探究し、研究目的に応じた方法を用いて成果を生み出す能力を有する。
- 2 看護の実践と研究において、倫理的判断と行動が遂行できる能力を有する。
- 3 専門領域の研究知見と看護実践の動向を把握し、批判的に検討し統合する能力を有する。
- 4 他者との討論を通して、自己と他者およびチームの成長につなげる能力を有する。

【実践者養成コース】

・公衆衛生看護学

- 1 地域における健康と QOL の向上及び社会の安寧に寄与することを使命とし、専門職業人としての責務を果たせる知識・技術・態度を生涯にわたり研鑽し続けるプロフェッショナルとしての能力を有する。
- 2 地域や地域住民を対象として包括的視点で的確にアセスメントとし、科学的根拠に基づいた公衆衛生看護実践ができる能力を有する。
- 3 公衆衛生看護学を探究するとともに、地域における実践課題を見出し、課題解決に向けて研究を遂行する能力を有する。
- 4 地域における健康と QOL の向上や地域社会の安寧を目指し関係機関・関係者と連携・協働体制を構築して地域社会の変革を推進する能力を有する。
- 5 急速に変化する社会状況に対して、保健師に求められる役割を認識し、地域社会の発展に寄与できる能力を有する。

・助産学

- 1 助産師としての高い倫理観を持ち、高度な専門職として対象者のニーズに対して応答できる能力を有する。
- 2 安全で対象者に満足のいく助産ケアの提供のために、科学的根拠に基づいた自律した助産実践を行う能力を有する。
- 3 助産実践を変革させるうえでの課題を見出し、解決に向けて研究を遂行する能力を有する。
- 4 助産学領域の実践上の課題に向けてマネジメント力を発揮し、組織および多職種と連携・協働できる能力を有する。
- 5 社会の動向を踏まえ地域の母子保健活動を推進するために、全ての女性、乳幼児、家族の健康増進に向けて支援できる能力を有する。

◆博士後期課程

看護学専攻博士後期課程に3年以上在籍し、専門共通科目（必修）6単位、専門科目（選択）2単位、演習科目（必修）2単位、特別研究科目（必修）6単位の合計16単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格することとし、加えて、博士論文に関する副論文1編を、査読制度のある学術雑誌に単著又は共著筆頭の原著論文、研究報告、総説のいずれかとして発表すること（印刷中の論文については、その旨を記入し、アクセプトされたことが分かる証明書を添付する）とする。これらの要件を全て満たす者に博士（看護学）の学位を授与する。

単位認定および論文審査にあたっては、以下の学位授与方針（ディプロマポリシー）に基づいて厳格かつ適切な評価を行う。

- 1 専門領域における独創的な研究を行い、新たな看護の知を創造する能力を有する。
- 2 科学的考察や議論を深めて、新たな看護の見解を論述する能力を有する。
- 3 自らの研究について、その真価を問うために社会に発信する能力を有する。

②カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

◆博士前期課程

【研究コース】

専門共通科目16単位以上（必修6単位、選択10単位以上）と専門領域科目4単位以上、特別研究10単位で編成する。

専門共通科目は、広い視野で看護実践やその課題を捉えられる看護研究の基盤となる12科目「先端医学論」「チーム医療特論」「保健統計学特論」「生命・医療倫理論」「英文作成概論」「看護理論」「看護と哲学」「質的研究方法論」「量的研究方法論」「地域包括ケア特論」「看護政策特論」「看護教育学特論」を配置する。

専門領域科目は、看護実践の探求と基礎的研究能力を育成するために各専門領域において「特論」「演習」「特別研究」を配置する。

専門領域は、「基盤開発看護学領域」「地域看護学領域」「精神保健看護学領域」「療養支援看護学領域」「次世代育成看護学領域」の5領域で構成し、看護実践の質の向上と変革をめざす。

- 1 基盤開発看護学領域では、あらゆる看護の対象と場における共通基盤である「看護専門職として成長・発展」および「エビデンスに基づく看護」について探求する。
- 2 地域看護学領域では、地域における今日的課題を考察すると共に、地域で生活する個人・家族・集団および地域を対象とした看護実践において、生活の質の向上に貢献できる看護実践力や方策を探求する。
- 3 精神保健看護学領域では、メンタルヘルスに健康問題を持つ本人と家族を取り巻く人々が、その人らしい生活が生き生きと送れ、生活の質の向上を支援する看護実践を探求する。
- 4 療養支援看護学領域では、疾患や加齢により療養しているあらゆる健康レベルの本人や家族を対象として、臨床における対象者の生活の質を高める看護実践・開発を探求する。
- 5 次世代育成看護学領域では、次世代を育成する看護の観点から、周産期の妊産褥婦を含め広く女性を対象とした健康支援や子どもや家族の発達支援を探求する。

特別研究は、研究課題となる専門領域科目の特論と演習における学習に連動した研究を遂行し、専門性を深く探求した修士論文を完成とする。

【実践者養成コース】

・公衆衛生看護学

(1) 公衆衛生看護実践能力の育成（基礎—応用）

個人、家族、集団、地域の関連を理解し、理論と実践を連動する公衆衛生看護実践力を育成する。個別の健康課題から集団の健康課題、地域の健康課題へと視点を個別から集団、地域へと拡大するとともに包括的アセスメントが根拠に基づいてできる公衆衛生看護実践力が身につくように、4種類の実習を段階的に配置する。

- ①1年前期に公衆衛生看護実践能力の基礎となる知識・技術・態度を学修し、それを応用して実践力を身に付けるために「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」を1年次後期に配置し、地域診断と公衆衛生看護展開過程を学ぶ。
- ②1年後期から2年前期にかけて、「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」が終了した後、「地域包括ケア実習Ⅰ」を配置し、乳児のいる世帯1例を受け持ち自律した個別支援能力を身に付け、個別支援から家族支援さらに地域づくりへと発展する過程を学修する。1年間継続した訪問実習することで関係形成や個別のマネジメント、更に地域マネジメントへの展開について段階的に実践力を身につける。
- ③2年前期に「地域包括ケア実習Ⅱ」を配置し、これまでの実習経験を活かし（応用）、小豆島をフィールドとして、地域特性を把握した上で健康危機管理を視点として地域診断を行い、地域住民が安心して暮らせる地域を目指し、既存の地域包括ケアシステムを再検討し、関係機関や関係者と連携。協働するマネジメントの実際を学ぶ。

(2) 研究力（研究的思考・手法）の育成（基礎—応用）

- ①1年前期に、看護研究の基礎となる科目を学習し、研究的思考。手法を理解する。

②1年後期に基礎的知識を「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」または「地域包括ケア実習Ⅰ」の実習において応用し公衆衛生看護実践の課題を探究する。

(3) 公衆衛生看護実践と研究的思考・手法の統合（統合）

①公衆衛生看護学特論。演習において「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」や「地域包括ケア実習Ⅰ」での公衆衛生看護実践の課題を探究し、研究的思考・手法を活用して実践の課題を研究課題へと洗練し、2年前期に研究計画書を作成する。

②研究計画書に基づいて、データ収集し分析する課題研究過程を学修し、その結果から公衆衛生看護実践（実習）上の課題解決に反映する研究過程を学習し、実践と研究を統合した成果として課題研究論文を作成する。

・助産学

助産学では、責務遂行能力、助産実践能力、課題探求解決能力、連携・協働力、地域貢献力を修得できるように課題研究科目、専門共通科目、専門領域科目（実践コース共通科目を含む）に加えて、助産師国家試験受験資格取得に必要な科目を以下のような共通方針に基づいて配置している。

- (1) 助産実践上の知識、技術、専門職としての態度の修得レベルをあげるため、ローリスク妊婦ケアと10例以上の正常分娩介助後、経験した事例をもとにシナリオを作成し、徹底したシミュレーション学習を行う。
- (2) 周産期の臨床思考を身につけるために段階的に助産実践能力の客観的評価を実施する。知識、技術、態度の目標到達レベルの確認のために実習前：助産実践能力の客観的評価と実習後：助産実践能力の客観的評価および修了前：助産実践能力の客観的評価を行う。
- (3) 妊娠・分娩・産褥・育児期を継続して支援する能力を養うため、1年次から実習を設置し、継続事例のうち1例は1年間受け持つ。
- (4) 高度な周産期母子医療に対応した実践能力を修得するために、ハイリスク妊産褥婦ケアを含めた特論や演習科目を強化する。
- (5) 研究科における研究方法論（量的研究・質的研究）や看護理論、英論文作成概論等を1年次から履修できるようにし、研究を行うための基礎的知識を活用し、仮説を構築、検証することや、実践上の課題を解決できるようにする。
- (6) 公衆衛生看護学との合同科目の履修により、課題探究、多職種連携・協働についての実践を学ぶことができるようにする。
- (7) 香川県の課題を把握するため、香川県全域で実習を行い、地域包括医療・ケアについて学ぶ機会をつくる。

◆博士後期課程

以下の4項目を教育方針（カリキュラムポリシー）として定め、体系的で適切な教育課程を編成する。

- 1 博士後期課程における看護学の専門領域は、地域包括ケアの推進に資する看護実践に役立つモデルの開発研究を目指し、「実践開発看護学領域」とする。
- 2 教育課程は、研究の基盤的知識を養う「専門共通科目」、看護学特別研究につながる「専門科目」と「演習科目」、博士論文を完成させる「特別研究科目」の4つの科目群で構成する。
- 3 「専門科目」の特論、「演習科目」の特別演習の学修を体系的に履修するコースワークが、「特別研究科目」のリサーチワークに統合するように科目を配置する。
- 4 授業は、人と論理的・対話的に議論することで、組織内で政策提言ができるリーダー能力の育成を意図した展開方法とする。

③アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

◆博士前期課程

博士前期課程では、基本理念・目的を達成するため、次のような資質を備えた人を求める。

- 1 生命の尊厳を畏敬する深い人間愛と洞察力をもつ人
- 2 看護の課題を科学的に探究し、エビデンスを活用する専門性をもちリーダーシップの発揮を志す人
- 3 看護実践や教育・研究に対する真摯な構想力や想像力、実践力を高めようとする人
- 4 看護学の発展に寄与できるアイデンティティを形成し、知識基盤社会の発展を目指して真理の追究を志す人

◆博士後期課程

実践科学としての看護学に対する深い学識を持つ自立した研究者として、看護実践に役立つモデルを独創的に開発し、研究成果を地域に還元することで、地域の看護実践の向上と変革に貢献できる教育者又は看護実践の組織的指導者を育成する。これによって、地域の看護の質向上及び県民の健康と福祉に寄与する。

この教育目的を達成するために、以下の3項目を受け入れ方針とする。

- 1 専門領域の深い知識と看護研究の基本的能力をもち、看護実践の向上と変革に貢献する独創的な研究に取り組める「論理的思考力」と「柔軟な発想力と創造性」を有している人
- 2 地域の看護実践の向上と変革に使命感をもち、研究成果に基づく政策提言ができる組織的指導者を目指したい人
- 3 看護学の発展に貢献する意志をもち、看護学の研究を創造的に推進できる教育者を目指したい人

(7) 保健医療学研究科臨床検査学専攻の3つのポリシー

①ディプロマ・ポリシー（修了の認定に関する方針）

◆博士前期課程

修了要件となる単位を修得するとともに、必要な研究指導を計画的に受けた上で修士論文を作成し、本研究科が行う修士論文についての研究の成果の審査及び最終試験に合格し、下記の条件をすべて満たす者に臨床検査学の修士学位を授与する。

- 1 国際専門誌の読解力を備え、全国学会でも研究を発表する能力があること。
- 2 研究テーマに自主性や独創性があり、研究仮説の立案から実証までのすべての過程の説明能力を有すること。

◆博士後期課程

修了要件となる単位を修得するとともに、必要な研究指導を計画的に受けた上で、主論文（1編）を英文で作成し、査読制度のある国際又は全国学会誌に投稿、査読を経て単著又は共著筆頭の原著として発表する（印刷中の論文については、その旨記入し、アクセプトされたことが分かる証明書を添付する）。なお、主論文に関連する副論文（申請者が筆頭著者・共著者に入っている論文）の添付が望ましい。論文審査及び最終試験に合格し、下記の条件をすべて満たす者に臨床検査学の博士学位を授与する。

- 1 臨床検査学領域における問題を発見し、解決に導く能力を有し、自ら研究仮説の立案、研究の遂行、仮説の実証ができること。
- 2 自らの研究について、社会への説明能力があり、国際又は全国学会誌に研究成果を発

表できること。

②カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

◆博士前期課程

臨床検査学専攻は、病態機能検査学及び病因解析検査学の2領域で構成する。

専門共通科目 12 単位以上（先端医療学、保健医療福祉論、チーム医療特論の必修6単位、選択6単位以上）、専門領域科目8単位以上（選択した特別研究が属する領域科目から特論2単位及び演習2単位、さらに他の領域科目も含め4単位以上）、特別研究 10 単位の合計 30 単位以上を修得する。

- 1 病態機能検査学領域では、神経系、循環器、呼吸器、腎機能など種々の生理機能検査や病理学的・細胞学的検査に基づく病態の解析法について、より専門性を深め、病態を解析・診断するための臨床検査学について学修する。
- 2 病因解析検査学領域では、病原微生物、生態防御に関わる免疫系、生体の代謝に重要な生化学的マーカー、遺伝子・染色体及びその関連物質等、病気を引き起こす要因について、より専門性を深め、病因を解析するための臨床検査学について学修する。
- 3 食品などの健康科学分野において、科学的な検証システムの構築などを通して人々の健康志向への対応や、社会医学分野における保健医療福祉に貢献できる方法について学修する。
- 4 膨大な量の検査情報を効率よく管理し、病態解析や病因解析に有効に利用するための検査情報管理法や検査部の管理運営法についても専門性を深め、検査部門における管理指導的役割について学修する。
- 5 特別研究は、研究課題となる専門領域科目の特論と演習における学修に連動した研究を遂行し、専門性を深く探究した修士論文を完成とする。

◆博士後期課程

保健医療学研究科の教育研究理念、臨床検査学専攻の教育目的に則って、臨床検査学の学術的基盤に基づいた高度な専門性と学際性とのバランスを図り、研究領域における教育・研究の深化と発展を目指し、さらにこれを科学的に究めて新規かつ独創的な研究成果を発信できる人材、すなわち、臨床検査学の高度な専門的能力と広範な専門知識、更に科学的検証能力を備えた人材を育成するために、以下のような方針に基づいてカリキュラムを編成する。「専門共通科目」、「専門科目」と「臨床検査学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」で構成し、「専門共通科目」は、1年次の前期に、臨床検査に関する幅広い研究テーマの研究課程における研究方法論を学修する1科目（「臨床検査学研究方法論」）を必修科目として、「専門科目」は、後期に高度医療専門職に必要とされる能力の獲得を目指し研究領域の教育研究について学修する4科目（「病原因子解析検査技術論」、「病理病態検査技術論」、「神経生理機能検査技術論」、「遺伝子検査技術論」）を選択科目として、それぞれ配置する。「専門共通科目」必修2単位、「専門科目」選択2単位以上の計4単位以上の修得とする。さらに個々の研究テーマについて独創的な視点から、研究仮説及び計画の立案、実験・解析・考察、仮説の立証を通して学位論文を完成させる。「臨床検査学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は、3科目6単位の必修科目として配置する。

- 1 「臨床検査学研究方法論」は、臨床検査に関する幅広い視野を有する教育者・研究者を育成するために、臨床検査に関する幅広い研究テーマに関する質の高い国際専門雑誌の英語論文抄読を行い、仮説の立案から仮説の科学的な検証に至るまでの研究課程における研究方法論について学修する。

- 2 「病原因子解析検査技術論」は、細菌感染症に対して抗菌薬を用いない全く新しい治療法の開発に繋げるための宿主 - 病原微生物相互作用研究やⅢ型分泌機構研究について学修する。
- 3 「病理病態検査技術論」は、消化器癌や乳癌等における癌の分子病理細胞診断に必要な技術と知識を深め、細胞接着因子の発現と上皮間葉転換による癌の浸潤、転移、悪性度に関する分子機構の解析について学修する。
- 4 「神経生理機能検査技術論」は、神経変性疾患における活性酸素の役割や天然化学物質の生体内情報伝達機構への影響とその作用機序について学修する。
- 5 「遺伝子検査技術論」は、遺伝子検査技術、遺伝学の基礎知識を更に深め、効率的な遺伝子検査の開発や遺伝子情報に関する情報リテラシーについて学修する。
- 6 「臨床検査学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は、必修の3科目6単位とし、開講は通年、年、1年次はⅠ、2年次はⅡ、3年次はⅢを配置し、それぞれ研究過程並びに博士論文作成過程の進度別に明示した3段階の到達水準を達成して進む順序性を設定する。満たない場合は、学修期間は4年、5年と延長する研究指導体制とする。
- 7 専門的な研究を深化させるための「学術セミナー」を各年次に実施する。「学術セミナー」では、院生が特別研究や博士論文作成過程での課題を発表し、院生間並びに教員と院生間において相互に討論を重ね、多様な観点からの専門的な研究並びに学際的な観点からの研究の深化を図ることを目的とする。また、特色として、専門分野における豊かな学識を有する者を招聘しグローバルな視点から、教育・研究への動機づけが得られる教育研修を企画し、多様な観点から専門的な研究指導と学際的な研究指導が受けられる体制とする。

③アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

◆博士前期課程

臨床検査学専攻博士前期課程では、基本理念・目的を達成するため、次のような資質を備えた人を求める。

- 1 生命を尊重し、いたわりの心をもつ人
- 2 臨床検査に関する基本的な知識・技能・態度を有している人
- 3 臨床検査学の領域におけるさまざまな課題についてリサーチマインドを持って探求し、解決に努力する人
- 4 新たな臨床検査技術の開発に向けた研究を行いたい人

◆博士後期課程

臨床検査学専攻博士後期課程では、基本理念・目的を達成するため、次のような資質を備えた人を求める。

- 1 臨床検査学の高度な専門知識と科学的検証能力の獲得に強い意欲を有する人
- 2 臨床検査学領域における問題解決能力を備え、独創的な技術基盤の構築に向け強い意欲を有する人
- 3 基本的な英語力を更に高め、国際専門誌の読解力や投稿への強い意欲を有する人
- 4 臨床検査学領域における教育者・研究者を目指す人

(1) 保健医療学部

①看護学科

看護学科では、人の尊厳の擁護と科学的思考力を中核とする看護実践能力を身につけ、看護専門職として地域の人々の健康で幸福な生活の実現に貢献する、自律性と創造性が発揮できる人材の育成を目指している。

＜基礎科目群＞は、人間の本质と生命の尊厳を学び、豊かな人間性と倫理観を醸成するとともに、課題を見出して学問的探求を行い、主体的に問題解決できるための基礎的能力を身につける科目群である。この科目群は、教育目的に示した『人の尊厳、科学的思考、人の健康と生活の基盤形成』を担うため、自然・人間・社会・情報・外国語・健康に区分し科目を配置する。

＜看護専門科目群＞は、『確かな看護実践能力を身につけ、看護専門職として地域の人々の健康で幸福な生活の実現に貢献する』ために、看護学の専門的知識・技術を基礎から応用へと段階的に学修する科目群であり、以下に区分する。看護学実習は、看護実践能力が4年間で「基礎－応用－統合」と着実に獲得できるように配置、また1年次の「看護ゼミナールⅠ」で課題探求能力の基礎を作り、3年次「看護ゼミナールⅡ」、4年次「看護研究」へと課題探求能力の発揮につなげる。

授業科目

(令和7年4月1日現在)

基礎科目群	自 然	生物学、化学、物理学
	人 間	教育学、心理学、哲学、健康科学、健康スポーツ、障がい論、生命倫理
	社 会	社会学、法学、経済学、史学、文化人類学、医療倫理学、社会保障論
	情 報	情報リテラシー、看護情報学、看護統計
	外 国 語	英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、中国語Ⅰ・Ⅱ
	健 康	人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ、疾病と治療Ⅰ～Ⅴ、病理学概論、臨床薬理、臨床栄養、医療とME機器、臨床心理学、臨床検査ラボラトリー
看護専門科目群	看 護 学 総 論	看護学概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、看護教育、看護管理
	看護技術論・臨床推論	看護技術論Ⅰ～Ⅵ、総合看護技術演習Ⅰ・Ⅱ、臨床推論演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
	看 護 過 程 論	看護過程論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ
	健 康 レ ベ ル 別 看 護 論	プライマリーヘルスケア、慢性期ケア、急性期ケア、リハビリテーション看護、緩和・エンドオブライフケア、健康レベル別看護技術演習
	発達段階別看護論	成人看護学概論、老年看護学Ⅰ・Ⅱ、母性看護学Ⅰ・Ⅱ、小児看護学Ⅰ・Ⅱ
	メンタルヘルス看護論	精神保健看護学Ⅰ・Ⅱ
	地域・在宅看護論	地域看護学Ⅰ・Ⅱ、離島看護学Ⅰ・Ⅱ、在宅看護学Ⅰ・Ⅱ、地域包括ケア論
	看 護 発 展 論	家族看護、がん看護、チーム医療、看護における代替療法、訪問看護論 看護政策論、災害看護、看護職のメンタルヘルス、地域保健論 リプロダクティブ・ヘルス、異文化看護
	看 護 学 実 習	看護学導入実習、看護技術論実習、看護過程論実習、在宅看護学実習 発達段階別看護論実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、メンタルヘルス看護論実習 健康レベル別看護論実習、看護学総合実習、地域健康サポーター実習
	看護ゼミナール・看護研究	看護研究方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、看護ゼミナールⅠ・Ⅱ、看護研究

②臨床検査学科

本学では、臨床検査学学修の効率化を目指して、基礎科目群から臨床検査専門科目群へと積み上がる科目構成とする。また、臨床検査に関連する領域の学修も含め、社会において幅広く活躍できる能力も培える科目配置とする。臨床検査の総合的な実践能力を修得するため、臨床検査学体験実習、基礎検査技術学演習をはじめ、多くの専門科目の実習や臨地実習を行っている。

また、医療の高度化・多様化に対応するため、先端医療技術学、臨床遺伝子検査学、生殖補助医療技術論など、幅広い高度な技術を学習するとともに、保健・医療・福祉の分野で活躍できる基礎的能力を習得するため、環境・食品検査学実習、健康食品学、食品衛生学、薬理学、地域チーム医療論、検診検査学、リスクマネジメントなどについても受講できる体制をとっている。

さらに、科学的思考力や課題解決能力を習得する目的で、教養講座・香川、専門ゼミナール、卒業研究を通じ、少人数によるゼミ形式の教育を入学から卒業に至るまで一貫して行っている。

授業科目

(令和7年4月1日現在)

基礎科目群	人文学	日本語表現法、哲学、史学、心理学、倫理学
	社会科学	法学、教育学、社会学、経済学、文化人類学
	自然科学	物理学、物理学実験、化学、化学実験、生物学、生物学実験
	外国語	英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、中国語Ⅰ・Ⅱ
	情報・健康科学	情報科学Ⅰ・Ⅱ・演習、健康科学、健康スポーツ
	総合科目	教養講座・香川
臨床検査専門科目群	専門基礎	解剖学、解剖学実習、生理学、生理学実習、生化学Ⅰ・Ⅱ、生化学実習、生命科学概論、微生物学、病理病態学、検査機器概論、薬理学、公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、食品衛生学、環境・食品検査学実習、社会福祉学、瀬戸内圏環境論、国際保健論、組織論、地域チーム医療論、医療統計学Ⅰ・Ⅱ、人間工学、医用電子工学、医用電子工学演習、医療情報処理学
	分析検査学	臨床化学検査学、生体試料分析検査学、病態化学分析検査学 生体試料分析検査学実習、一般検査学、一般検査学実習、放射性同位元素学 分子生物学、分子生物学実習、臨床遺伝子検査学、臨床遺伝子検査学実習 生体防御検査学、高感度分析検査学、高感度分析検査学実習、 輸血・移植検査学、輸血・移植検査学演習、輸血・移植検査学実習
	形態検査学	微生物検査学、細菌検査学実習、ウイルス・真菌検査学実習、医動物検査学演習 病理病態学演習、病理検査学、病理検査学実習、血液検査学Ⅰ・Ⅱ 血液検査学実習、顕微鏡技術論、写真技術論
	検査情報解析検査学	生体画像情報検査学、生体制御機能検査学、生体機能検査学実習Ⅰ・Ⅱ 臨床医学Ⅰ・Ⅱ、病態生理機能検査学、病態代謝機能検査学、 検査精度保証管理学、検査分析システム学、検査情報解析学、 臨床検査管理運営学
	総合検査学	検査学概論、臨床検査学体験実習、基礎検査技術学演習、専門ゼミナール 臨床検査関係法規、先端医療技術学、医療安全管理学、検診検査学 生殖補助医療技術論、リスクマネジメント、遺伝子分析科学 健康食品学、健康食品学関係法規、卒業研究
	臨地実習	臨地実習前技能到達度評価、臨床検査総論臨床実習、病理組織細胞学臨床実習、 臨床生理検査学臨床実習、臨床化学検査学臨床実習、臨床血液検査学臨床実習、 臨床微生物検査学臨床実習、臨床免疫検査学・輸血移植免疫検査学臨床実習

(2) 保健医療学研究科

<看護学専攻博士前期課程>

○研究コース

博士前期課程では、エビデンスのある看護実践を創造する基本的研究能力を身に付け、専門性の高い看護実践能力を持ち、リーダーシップマネジメント力を発揮し、地域の保健医療活動や後輩育成に貢献できる人材を育成することを教育目的とし、専門領域は、基盤開発看護学、地域看護学、精神保健看護学、療養支援看護学、次世代育成看護学の5領域で構成し、実践看護の質の向上と変革をめざす。

授業科目（看護学専攻博士前期課程研究コース）

（令和7年4月1日現在）

専門共通科目			
	先端医学論※	チーム医療特論※	保健統計学特論
	生命・医療倫理論※	英論文作成概論	看護理論
	看護と哲学	質的研究方法論	量的研究方法論
	地域包括ケア特論	看護政策特論	看護教育学特論
専門領域科目			
基盤開発看護学領域	基盤看護学特論	基盤看護学演習	
地域看護学領域	公衆衛生看護学特論	公衆衛生看護学演習	
	在宅看護学特論	在宅看護学演習	
精神保健看護学領域	精神保健看護学特論	精神保健看護学演習	
療養支援看護学領域	臨床実践看護学特論	臨床実践看護学演習	
	老年看護学特論	老年看護学演習	
次世代育成看護学領域	ウィメンズヘルス看護学特論	ウィメンズヘルス看護学演習	
	小児看護学特論	小児看護学演習	
特別研究科目			
	看護学特別研究		

※は臨床検査学専攻と合同授業科目

○実践者養成コース

・公衆衛生看護学

公衆衛生看護学の学修が、基礎から応用および課題研究との統合に向けて、段階的に「基礎－応用－統合」へと積み上げ着実に科学的根拠に基づく高度な公衆衛生看護実践能力が獲得できるように科目配置する。

公衆衛生看護実践能力や研究力の育成、さらに公衆衛生看護実践力と研究力を統合した課題研究の取り組み、段階的「基礎－応用－統合」プロセスで進める。

授業科目（看護学専攻博士前期課程実践者養成コース 公衆衛生看護学）

（令和7年4月1日現在）

専門共通科目		
	研究コースと同科目	
専門領域科目		
地域看護学領域	公衆衛生看護学特論	公衆衛生看護学演習
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	公衆衛生看護技術論Ⅰ・Ⅱ
	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	公衆衛生看護管理論Ⅰ・Ⅱ
	保健医療福祉行政論	保健医療福祉行政論演習 疫学
	保健統計学	公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ
実践者養成コース共通	地域包括ケア実習Ⅰ・Ⅱ	
特別研究科目		
	課題研究Ⅰ・Ⅱ	

※は臨床検査学専攻と合同授業科目

・助産学

助産学では、責務遂行能力、助産実践能力、課題探求解決能力、連携・協働力、地域貢献力を修得できるように課題研究科目、専門共通科目、専門領域科目（実践コース共通科目を含む）に加えて、助産師国家試験受験資格取得に必要な科目を共通方針に基づいて配置する。

授業科目（看護学専攻博士前期課程実践者養成コース 助産学）

（令和7年4月1日現在）

専門共通科目	
	研究コースと同科目
専門領域科目	
次世代育成看護学領域	ウィメンズヘルス看護学特論 ウィメンズヘルス看護学演習
助産学	助産学概論 助産実践概論 周産期学・女性学特論
	新生児学・乳幼児学特論 助産実践特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
	助産実践演習Ⅰ・Ⅱ 地域母子保健活動論 助産管理
	助産学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
実践者養成コース共通	地域包括ケア実習Ⅰ・Ⅱ
特別研究科目	
	課題研究Ⅰ・Ⅱ

※は臨床検査学専攻と合同授業科目

<看護学専攻博士後期課程>

博士後期課程では、実践科学としての看護学に対する深い学識を持つ自律した研究者として、看護実践に役立つモデルを独創的に開発し、研究成果を地域に還元することで、地域の実践の向上と変革に貢献できる教育者又は看護実践の組織的指導者を育成する。

看護学の専門領域は、地域包括ケアの推進に資する看護実践に役立つモデルの開発研究を目指し、「実践開発看護学領域」とする。授業は、人と論理的・対話的に議論することで、組織内で政策提言ができるリーダー能力の育成を意図した展開方法とする。

授業科目（看護学専攻博士後期課程）

（令和7年4月1日現在）

専攻共通科目			
	看護理論学	看護学発展論	看護研究方法特論
	専門科目		演習科目
実践開発看護学領域	基盤看護科学特論	地域在宅看護科学特論	実践開発看護学特別演習
	精神保健看護科学特論、療養支援看護科学特論		
	次世代育成看護科学特論		
特別研究科目			
	看護学特別研究		

＜臨床検査学専攻博士前期課程＞

保健医療学研究科の教育目的、臨床検査学専攻の教育目的に則って、臨床検査技師の役割と機能が拡大・多様化するなかで、高度先進医療への対応と新しい検査技術の開発、感染症や生活習慣病などの疾病予防と健康増進に貢献できる高度専門職業人としての臨床検査技師を育成するための方針に基づいてカリキュラムを編成する。

授業科目（臨床検査学専攻博士前期課程）

（令和7年4月1日現在）

専門共通科目			
	先端医学論※ 生命・医療倫理論※ 食理学	保健医療福祉論 検査総合管理学 検査研究方法論	チーム医療特論※ 医療情報管理学
専門領域科目			
病態機能検査学領域	生体機能検査学特論	生体機能検査学演習	病態解析検査学特論
	病態解析検査学演習	病理病態検査学特論	病理病態検査学演習
	血液病態検査学特論	血液病態検査学演習	神経生理機能検査学特論
	神経生理機能検査学演習		
病因解析検査学領域	病原因子検査学特論	病原因子検査学演習	生体防御検査学特論
	生体防御検査学演習	生体化学検査学特論	生体化学検査学演習
	遺伝子検査学特論	遺伝子検査学演習	
特別研究科目			
	臨床検査学特別研究		

※は看護学専攻と合同授業科目

＜臨床検査学専攻博士後期課程＞

保健医療学研究科の教育研究理念、臨床検査学専攻の教育目的に則って、臨床検査学の学術的基盤に基づいた高度な専門性と学際性とのバランスを図り、研究領域における教育・研究の深化と発展を目指し、さらにこれを科学的に究めて新規かつ独創的な研究成果を発信できる人材、すなわち、臨床検査学の高度な専門的能力と広範な専門知識、更に科学的検証能力を備えた人材を育成するための方針に基づいてカリキュラムを編成する。

授業科目（臨床検査学専攻博士後期課程）

（令和7年4月1日現在）

専門共通科目	
	臨床検査学研究方法論
専門科目	
病態機能検査学領域	病態機能検査学技術論、神経生理機能検査技術論
病因解析検査学領域	病原因子解析検査技術論、遺伝子検査技術論
特別研究科目	
	臨床検査学特別研究Ⅰ、臨床検査学特別研究Ⅱ、臨床検査学特別研究Ⅲ

(4) 実習施設

【保健医療学部】

①看護学科（文部科学省承認施設）

（令和7年4月1日現在）

◎看護学導入実習・看護過程論実習・看護技術論実習

香川県立中央病院、高松赤十字病院、かがわ総合リハビリテーション病院、
高松訪問看護ステーション、訪問看護ステーションこくぶ、訪問看護ステーションQちゃん、
高松市保健センター、ぽっこ助産院、特別養護老人ホームエデンの丘（高松市）
丸亀市（丸亀市）、香川大学医学部附属病院（三木町）、宇多津町（宇多津町）、
多度津町（多度津町）

◎発達段階別看護論実習Ⅰ（母性看護学）

ぽっこ助産院、わはは・ひろば高松・香西、
特定非営利活動法人ゆうゆうクラブ（高松市）

◎発達段階別看護論実習Ⅱ（小児看護学）

香川県立中央病院、高松赤十字病院、かがわ総合リハビリテーション病院、
高松市立はらこども園、高松市立はやしこども園、高松市立屋島こども園、
高松市立川島こども園、高松市立田井こども園、高松市立牟礼保育所、
高松市立古高松保育所（高松市）香川大学医学部附属病院（三木町）

◎発達段階別看護論実習Ⅲ（老年看護学）

屋島総合病院、かがわ総合リハビリテーション病院（高松市）

◎メンタルヘルス看護論実習

香川県立丸亀病院、三船病院（丸亀市）、若竹会（坂出市）

◎在宅看護学実習

高松訪問看護ステーション、訪問看護ステーションこくぶ、訪問看護ステーションかけはし、
訪問看護ステーションQちゃん、訪問看護ステーションやしま、
訪問看護ステーションやすもり、ゆりかごナースセンター、
訪問看護ステーションあさぎ（高松市）、まるがめ訪問看護ステーション（丸亀市）、
訪問看護ステーションたきのみや（綾川町）

◎健康レベル別看護論実習

香川県立中央病院、高松赤十字病院（高松市）、香川大学医学部附属病院（三木町）

◎看護学総合実習

各領域において実施

②臨床検査学科

◎各臨床実習

香川県立中央病院、高松赤十字病院、高松市立みんなの病院、キナシ大林病院、
屋島総合病院（高松市）
回生病院（坂出市）、香川大学医学部附属病院（三木町）、滝宮総合病院（綾川町）

【大学院保健医療学研究科 看護学専攻博士前期課程 実践者養成コース】 (文部科学省承認施設)

＜公衆衛生看護学＞

◎公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ

高松市保健センター、高松市地域包括支援センター、高松市保健所（高松市）、
中讃保健福祉事務所（丸亀市）、西讃保健福祉事務所、観音寺市（観音寺市）、
東讃保健福祉事務所（さぬき市）、東かがわ市（東かがわ市）、多度津町（多度津町）

◎地域包括ケア実習Ⅰ・Ⅱ

高松市保健センター、高松市地域包括支援センター、高松市保健所（高松市）、
坂出市（坂出市）、さぬき市（さぬき市）、三豊市（三豊市）

＜助産学＞

◎助産学実習Ⅰ～Ⅴ

香川県立中央病院、高松赤十字病院、ぼっこ助産院（高松市）
四国こどもとおとなの医療センター（善通寺市）

◎地域包括ケア実習Ⅰ・Ⅱ

高松市保健センター、ぼっこ助産院（高松市）、
NPO 法人子育てネットくすくす（善通寺市）、小豆島中央病院（小豆島町）

(5) 令和7年度 学部・大学院 学年暦

前 期									後 期								
	日	月	火	水	木	金	土	行事		日	月	火	水	木	金	土	行事
4			1	2	3	4	5	入学式4/4、新入生オリエンテーション 4/4～4/10、健康診断 4/9	10				1	2	3	4	臨床検査学専攻博士後期課程 学術セミナー 10/1
	6	7	8	9	10	11	12			5	6	7	8	9	10	11	
	13	14	15	16	17	18	19			12	13	14	15	16	17	18	
	20	21	22	23	24	25	26			19	20	21	22	23	24	25	
5	27	28	29	30	1	2	3	ワクチン接種説明会(1年生) 4/25 4限 内科検診(1年生) 4/30 GW 5/3～5/6	11	26	27	28	29	30	31	1	開学記念日 10/20 (休) 橄欖祭 11/1
	4	5	6	7	8	9	10			2	3	4	5	6	7	8	
	11	12	13	14	15	16	17			9	10	11	12	13	14	15	
	18	19	20	21	22	23	24			16	17	18	19	20	21	22	
6	25	26	27	28	29	30	31	内科検診(2年生) 5/7 内科検診(3・4年生・院生) 5/14 大学院研究コース中間報告会5/14	12	23	24	25	26	27	28	29	看護学専攻博士後期課程 学術セミナー11/20ごろ
	1	2	3	4	5	6	7			30	1	2	3	4	5	6	
	8	9	10	11	12	13	14			7	8	9	10	11	12	13	
	15	16	17	18	19	20	21			14	15	16	17	18	19	20	
7	22	23	24	25	26	27	28	大学院実践者養成コース 中間報告会 6/4	1	21	22	23	24	25	26	27	課題研究論文発表会 12/11 冬季休業 12/24～1/2
	29	30	1	2	3	4	5			28	29	30	31	1	2	3	
	6	7	8	9	10	11	12			4	5	6	7	8	9	10	
	13	14	15	16	17	18	19			11	12	13	14	15	16	17	
8	20	21	22	23	24	25	26	夏季休業 8/12～9/30	2	18	19	20	21	22	23	24	看護学専攻実践者養成コース 修了判定結果揭示 1/7
	27	28	29	30	31	1	2			25	26	27	28	29	30	31	
	3	4	5	6	7	8	9			1	2	3	4	5	6	7	
	10	11	12	13	14	15	16			8	9	10	11	12	13	14	
9	17	18	19	20	21	22	23		3	15	16	17	18	19	20	21	卒業・判定結果揭示(4年生) 論文発表会 2/12 修了判定結果揭示 2/18
	24	25	26	27	28	29	30			22	23	24	25	26	27	28	
	31	1	2	3	4	5	6			1	2	3	4	5	6	7	
	7	8	9	10	11	12	13			8	9	10	11	12	13	14	
	14	15	16	17	18	19	20			15	16	17	18	19	20	21	卒業式・修了式 進級判定結果揭示(1~3年生) 春季休業 3/1～3/31
	21	22	23	24	25	26	27			22	23	24	25	26	27	28	
	28	29	30							29	30	31					

(凡例) : 土・日曜、休日 : 休業日

(1) 役職員

(令和7年5月1日現在)

学 長	平川 栄一郎
副 学 長	片山 陽子
研 究 科 長	
学 生 部 長	
図 書 館 長	古山 達雄
看 護 学 科 長	吉本 知恵
臨床検査学科長	多田 達史
看護学専攻長	近藤 真紀子
臨床検査学専攻長	奥田 潤
事 務 局 長	藤澤 朝美
事 務 局 次 長	橋本 恵子



(速水史朗「人」1999年)

(2) 教職員数

(令和7年5月1日現在、単位：人)

区 分		学長・副学長	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	計
学 長		1						1
副 学 長		1						1
保健医療学部	看 護 学 科		13	5	6 (1)	7 (1)	1	32(2)
	臨床検査学科		6	4	3	4		17
計 (教員)		2	19	9	10	12	1	51(2)

区 分	学長・副学長	教 授	准教授	講 師			計
保健医療学研究科	[2]	[17]	[9]	[8]			[36]

区 分	事務局長	事務局次長	副主幹	主任	主任主事 主 事	会計年度 任用職員	計
事 務 局	1	1	1	5 (2)	1	(8)	9(10)

合 計							60(12)
-----	--	--	--	--	--	--	--------

※保健医療学研究科の[]内の人数は学部との兼務者であり、教授には学長及び副学長を含む。

()内の人数は定数外職員。

(3) 教員の研究内容

【学長・副学長】

領 域	教 員	研 究 内 容
形態検査学	平川栄一郎	1. 癌の分子病理診断 2. 癌の浸潤と転移に関する分子機構の解析
在宅看護学	片山 陽子	1. Advance Care Planning (ACP) ・意思決定支援に関する研究 2. エンドオブライフケアに関する研究 3. 訪問看護に関する研究 4. 在宅看護学教育に関する研究

【保健医療学部】

①看護学科

領 域	教 員	研 究 内 容
基礎看護学	筒井 邦彦	1. 看護領域における超音波検査の有用性の研究 2. 死後の画像検査の研究
	小野 美穂	1. 病者のピアサポートに関する研究 2. 看護教育に関する研究 3. 慢性疾患患者のセルフマネジメントに関する研究
	呉 小玉	1. 中国残留邦人の健康と文化対応への支援に関する研究 2. 中医学の視点による情緒と疾病の関係性に関する研究 3. 中医学の健身気功による認知症予防の効果に関する研究 4. 伝統と現代医学の融合によるセルフケア技術に関する研究
	小林 秋恵	1. 包括的脳卒中予防の看護実践に関する研究 2. 看護職者の多職種連携協働能力に関する研究
	新井恵津子	1. リンパ浮腫患者の看護支援に関する研究 2. 糖尿病患者の周手術期看護支援に関する研究 3. 術後がん患者間の相互作用に関する研究
	重兼 望	1. 新人看護職員の教育支援に関する研究 2. 看護職におけるピアグループに関する研究
成人看護学	近藤真紀子	1. 病いと共に生きる患者とその家族への支援に関する研究 2. ハンセン病と医療倫理に関する研究 3. 幼い子供をもつがん患者とその家族への支援に関する研究 4. 看護師のグリーフケアに関する研究 5. 看護実践の理論化・概念化に関する研究
	岩本 真紀	1. がんサバイバーのストレングスに関する研究 2. がんサバイバーへの意思決定支援に関する研究
	森田公美子	1. がんとともに生きる人の QOL を維持する看護支援に関する研究 2. 乳がん体験者と家族への看護支援に関する研究 3. 外来・在宅でのがん看護のあり方に関する研究 4. がん看護に携わる看護師の看護実践能力の可視化に関する研究
	岡西 幸恵	1. がんサバイバーの調和に関する研究 2. 頭頸部がん患者への看護支援に関する研究 3. 成人看護学教育に関する研究
	中島 文香	1. がん患者の痛みの理解に関する看護研究 2. がん患者の全人的理解への看護支援に関する研究
	金 アンナ	1. 国際協力をする看護職者の経験と能力に関する研究 2. がんとともに生きる人へのエンド・オブ・ライフケアの研究

領 域	教 員	研 究 内 容
母性看護学・ 助産学	木戸久美子	1. 周産期の抑うつ（父親および母親）とその関連要因の研究 2. 在留外国人女性のリプロダクティブヘルスに関する研究 3. 育児支援に関する研究 4. マタニティケア領域におけるシミュレーション教育に関する研究
	植村 裕子	1. 母性看護学および助産学教育に関する研究 2. 女性の健康支援に関する研究 3. 外国人留学生の健康支援に関する研究
	松下有希子	1. 院内助産における助産ケアに関する研究 2. 助産師の職務満足に関する研究
	十河美智子	1. 助産師実践能力に関する研究
小児看護学	枝川千鶴子	1. 子どもと家族の健康管理および病気対処行動に関する研究 2. ハイリスク新生児と家族の看護に関する研究 3. 在宅移行期における子どもと家族の支援に関する研究
	松本 裕子	1. 先天代謝異常症の子どもとその家族に関する研究 2. 新生児マススクリーニングに関する研究 3. 小児看護学教育に関する研究 4. 子育て支援についての研究
老年看護学	吉本 知恵	1. 高齢者の病院からの移行を支援する看護に関する研究 2. 認知症高齢者の支援に関する研究 3. 老年看護学教育に関する研究
	竹内 千夏	1. 病院から在宅に移行する脳血管疾患患者への看護支援に関する研究 2. 認知症高齢者への支援に関する研究 3. 老年看護学教育に関する研究
	平井智重子	1. 高齢者の健康支援に関する研究 2. 老年看護学教育に関する研究
在宅看護学	岡田 麻里	1. 訪問看護師の地域看取りケアの振り返りに関する研究 2. 頸髄損傷者のセルフマネジメントに関する研究 3. 一人暮らし高齢者の居場所づくりに関する研究 4. 多職種連携のための継続看護マネジメントに関する研究
	和田 知世	1. 在宅緩和ケアに関する研究 2. 在宅多職種連携に関する研究 3. シミュレーション教育に関する研究
精神看護学	則包 和也	1. 精神疾患をもつ人への治療的な看護の研究 2. 認知行動療法を活用した看護の研究
	土岐 弘美	1. 認知症を抱える人や家族の支援に関する研究 2. 精神の病を抱える人や家族の支援に関する研究 3. 看護職者のメンタルヘルスの支援に関する研究
	多田羅光美	1. 精神に病いを持つ人への支援に関する研究 2. 精神科看護師の Quality of life や職務満足に関する研究 3. 看護職者への継続教育に関する研究

領 域	教 員	研 究 内 容
地域看護学・ 公衆衛生看護学	辻 よしみ	1. 保健医療サービスに関する研究 2. 保健師の人材育成に関する研究 3. 公衆衛生看護学教育に関する研究
	佐々木純子	1. 地域での専門職の連携についての研究 2. 在宅看護に関する研究 3. 訪問看護ステーションの管理運営に関する研究
	植原 千明	1. 保健師の地区活動に関する研究 2. 公衆衛生看護学教育に関する研究
	藤村保志花	1. 行政保健師の役割に関する研究 2. 児童虐待に関する研究
医学英語・ 応用社会科学	南 貴子	1. 海外における生殖補助医療を巡る法制度と家族についての研究 2. 安楽死を巡る法制度についての研究 3. 英語教育
情報・統計学	比江島欣慎	1. 臨床研究における evidence 導出に関する統計学・疫学の利用について ① カウンターファクチュアルモデルに基づくデータ分析手法の開発 ② 診療情報や保健情報の2次利用 ③ 深層学習の利用 ④ 医療従事者への統計ユーザー教育の方法と実践 2. 感染制御分野における統計学・疫学の活用法 3. 医療機関における患者安全と医療サービスの評価

②臨床検査学科

領 域	教 員	研 究 内 容
情報解析検査学	樋本 尚志	1. 肝疾患における自己抗体の臨床的意義 2. 肝疾患における糖・脂質代謝異常と微量元素との関連
	徳原 康哲	1. 先天性代謝異常症の病態・病因・検査法に関する研究 2. 次亜塩素酸ナトリウム五水和物を用いた新規臨床検査法の開発
	大栗 聖由	1. 脳波解析を用いた新たなバイオマーカーの開発 2. 横隔膜超音波検査を用いた呼吸筋に関する研究
	小河 佳織	1. 筋硬度を用いた新しい生体情報解析法の開発 2. 腹部超音波検査の描出法に関する研究
形態検査学	奥田 潤	1. 緑膿菌の未知の病原性発現機構解析 2. 緑膿菌の内因性血液感染機構解析と新規予防法の開発 3. III型分泌機構に着眼したエドワジエラ属細菌の病原性発現機構解析 4. 緑膿菌の新規抗菌薬耐性遺伝子や敗血症関連遺伝子の網羅的探索
	池亀 彰茂	1. 造血器腫瘍におけるフローサイトメトリーのマルチカラー解析 2. マクロファージによる NETs 貪食の Presepsin 産生に関する研究

領 域	教 員	研 究 内 容
形態検査学	末澤 千草	1. エドワジエラ属細菌の病原性に関する研究 2. 緑膿菌の病原性に関する研究 3. 緑膿菌の新規抗菌薬耐性遺伝子や敗血症関連遺伝子の網羅的探索
	森西 起也	1. 癌の分子病理診断 2. 大腸癌における核内受容体を対象とした研究
	近藤 明宏	1. プレセプシンの産生機序と臨床的有用性に関する研究 2. 血液細胞の機能および検査法に関する研究
分析検査学	多田 達史	1. 糖尿病と動脈硬化に関する臨床的研究 2. 自動分析装置の臨床に関する研究 3. 社会的ストレス関連マーカーの研究
	岡田 仁	1. ビリルビン光化学反応に関する研究 2. 早産児ビリルビン脳症の予防に関する研究 3. 小児血液がん疾患に関する臨床的研究
	宮川 朱美	1. 全身性強皮症診断法における免疫学的検査の有用性の研究 2. 透析患者の酸化ストレス度と抗酸化力の総合評価に関する研究
	太田 安彦	1. DPP-Ⅳ発現の機序に関する研究 2. 糖尿病患者における DPP-Ⅳ 活性値測定の実用化について
	青野 りよ	1. 病原細菌の免疫応答に関わる付着・定着因子の遺伝学的検討
解剖生理学	古山 達雄	1. 脈管形成における寿命関連遺伝子の関与 2. 神経新生における寿命関連遺伝子の関与
	新美 健太	1. 脈管系の発達過程に関する形態的研究 2. 内皮細胞におけるフォークヘッド転写因子の生理学的機能の検討 3. 中枢神経系の発達過程に関する形態的研究

(4) 教員の研究業績

(期間：令和6年4月～令和7年3月、単位：件)

区 分	学 術 論 文 等										学 会 発 表						主 催 学 会 等	講 演 等
	著 書 〔欧文〕	著 書 〔和文〕	原 著 〔欧文〕	原 著 〔和文〕	総 説 〔欧文〕	総 説 〔和文〕	研究報告 〔欧文〕	研究報告 〔和文〕	そ の 他 〔欧文〕	そ の 他 〔和文〕	国 際 学 会			国 内 学 会				
											特 別 講 演	シンポジウム等	一 般 演 題	特 別 講 演	シンポジウム等	一 般 演 題		
看護学科		3	5	9						8			4	1	9	45	8	49
臨床検査学科		1	6		1	2				1				1	2	28	4	4
合 計		4	11	9	1	2				9			4	2	11	73	12	53

(1) 入学者選抜試験及び入学者の状況

年度	学科・研究科		試験区分	募集人員 (人以内)	出願者数 (人)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	倍率	入学者数(人)		
									県内	県外	計
令和7年度	保健医療学部	看護学科	推 薦	35	43(2)	43(2)	35(1)	1.2	35(1)	0	35(1)
			一般(前)	25	79(10)	71(9)	28(4)	2.5	12(1)	13(3)	25(4)
			一般(後)	10	155(12)	53(3)	11(1)	4.8	5(1)	5(0)	10(1)
			計	70	277(24)	167(14)	74(6)	2.3	52(3)	18(3)	70(6)
		臨床検査学 科	推 薦	10	17(2)	17(2)	3(0)	5.7	3(0)	0	3(0)
			一 般	10	58(10)	52(10)	20(4)	2.6	5(2)	14(2)	19(4)
			計	20	75(12)	69(12)	23(4)	3.0	8(2)	14(2)	22(4)
		合 計	推 薦	45	60(4)	60(4)	38(1)	1.6	38(1)	0	38(1)
			一 般	45	292(32)	176(22)	59(9)	3.0	22(4)	32(5)	54(9)
			計	90	352(36)	236(26)	97(10)	2.4	60(5)	32(5)	92(10)
	保健医療学研究科	看護学専攻 (博士前期課程)	一般選抜 社会人選抜	25	19 (0)	19 (0)	15 (0)	1.3	11 (0)	4 (0)	15 (0)
		研究コース	一般選抜 社会人選抜	5	2 (0)	2 (0)	2 (0)	1.0	1 (0)	1 (0)	2 (0)
		実践者養成コース (公衆衛生看護学)	一般選抜 社会人選抜	10	11 (0)	11 (0)	8 (0)	1.4	7 (0)	1 (0)	8 (0)
		実践者養成コース (助産学)	一般選抜 社会人選抜	10	6 (0)	6 (0)	5 (0)	1.2	3 (0)	2 (0)	5 (0)
		看護学専攻 (博士後期課程)	一般選抜 社会人選抜	2	2 (0)	2 (0)	2 (0)	1.0	1 (0)	1 (0)	2 (0)
		臨床検査学専攻 (博士前期課程)	一般選抜 社会人選抜	3	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1.0	1 (1)	0	1 (1)
		臨床検査学専攻 (博士後期課程)	一般選抜 社会人選抜	2	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1.0	1 (0)	0	1 (0)
令和6年度	保健医療学部	看護学科	推 薦	35	37(3)	37(3)	31(2)	1.2	31(2)	0	31(2)
			一般(前)	25	32(1)	32(1)	29(1)	1.1	12(0)	16(1)	28(1)
			一般(後)	10	72(0)	20(0)	11(0)	1.8	6(0)	5(0)	11(0)
			計	70	141(4)	89(4)	71(3)	1.3	49(2)	21(1)	70(3)
		臨床検査学 科	推 薦	10	18(2)	18(2)	6(1)	3.0	6(1)	0	6(1)
			一 般	10	17(3)	12(2)	12(2)	1.0	4(0)	8(2)	12(2)
			計	20	35(5)	30(4)	18(3)	1.7	10(1)	8(2)	18(3)
		合 計	推 薦	45	55(5)	55(5)	37(3)	1.5	37(3)	0	37(3)
			一 般	45	121(4)	64(3)	52(3)	1.2	22(0)	29(3)	51(3)
			計	90	176(9)	119(8)	89(6)	1.3	59(3)	29(3)	88(6)
	保健医療学研究科	看護学専攻 (博士前期課程)	一般選抜 社会人選抜	25	26 (1)	26 (1)	22 (1)	1.2	15 (1)	4 (0)	19 (1)
		研究コース	一般選抜 社会人選抜	5	2 (0)	2 (0)	2 (0)	1.0	2 (0)	0 (0)	2 (0)
		実践者養成コース (公衆衛生看護学)	一般選抜 社会人選抜	10	12 (1)	12 (1)	10 (1)	1.2	9 (1)	1 (0)	10 (1)
		実践者養成コース (助産学)	一般選抜 社会人選抜	10	12 (0)	12 (0)	10 (0)	1.2	4 (0)	3 (0)	7 (0)
		看護学専攻 (博士後期課程)	一般選抜 社会人選抜	2	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1.0	1 (0)	0	1 (0)
		臨床検査学専攻 (博士前期課程)	一般選抜 社会人選抜	3	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1.0	1 (0)	0	1 (0)
		臨床検査学専攻 (博士後期課程)	一般選抜 社会人選抜	2	0	0	0	0.0	0	0	0

※ () 内は男子学生(内数)。合格者数には追加合格者数を含む。

(2) 学部・大学院在学生の状況

① 学生定員及び在学生数

(令和7年5月1日現在)

区 分		修業 年限	入学定員	収容定員	学 生 数					
					区分	1年	2年	3年	4年	計
保健 医療 学部	看護学科	4年	70人	280人	計	72人	75人	62人	70人	279人
					男	6人	6人	4人	5人	21人
					女	66人	69人	58人	65人	258人
	臨床検査学科	4年	20人	80人	計	22人	19人	19人	21人	81人
					男	4人	3人	4人	5人	16人
					女	18人	16人	15人	16人	65人
保健 医療 研究 科	合 計		90人	360人	計	94人	94人	81人	91人	360人
					男	10人	9人	8人	10人	37人
					女	84人	85人	73人	81人	323人
	看護学専攻 (博士前期課程)	2年	25人	50人	計	15人	20人			35人
	研究コース		5人	10人	男	0人	0人			0人
	実践者養成コース (公衆衛生看護学)		10人	20人	女	2人	3人			5人
	実践者養成コース (助産学)		10人	20人	男	0人	1人			1人
保健 医療 研究 科					女	8人	9人			17人
					女	5人	7人			12人
	看護学専攻 (博士後期課程)	3年	2人	6人	計	2人	1人	5人		8人
					男	0人	0人	0人		0人
					女	2人	1人	5人		8人
	臨床検査学専攻 (博士前期課程)	2年	3人	6人	計	1人	1人			2人
					男	1人	0人			1人
					女	0人	1人			1人
	臨床検査学専攻 (博士後期課程)	3年	2人	6人	計	1人	0人	1人		2人
					男	0人	0人	1人		1人
					女	1人	0人	0人		1人
	合 計		32人	68人	計	19人	22人	6人		47人
					男	1人	1人	1人		3人
					女	18人	21人	5人		44人

② 退学者の状況

学 科		令和5年度					令和6年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	計	1年次	2年次	3年次	4年次	計
学 部	看護学科	1人	0人	0人	0人	1人	1人	1人	0人	0人	2人
	臨床検査学科	1人	0人	1人	0人	2人	1人	0人	0人	0人	1人
保健医療学研究科		0人	2人	0人		2人	0人	0人	0人		0人
計		2人	2人	1人	0人	5人	2人	1人	0人	0人	3人

③休学者の状況

学 科		令和5年度					令和6年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	計	1年次	2年次	3年次	4年次	計
学部	看護学科	0人	1人	0人	0人	1人	8人	0人	0人	0人	8人
	臨床検査学科	1人	0人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	1人
保健医療学研究科		1人	1人	0人		2人	0人	0人	2人		2人
計		2人	2人	0人	0人	4人	8人	1人	2人	0人	11人

④修業年限期間に修了する大学院生の割合

【博士前期課程(標準修業年限2年)】

	令和4年入学者	令和5年度入学者
入学者数	16人	15人
修了者数	12人	14人
標準修業年限修了率	75.0%	93.3%

【博士後期課程(標準修業年限3年)】

	令和 3 年入学者	令和 4 年度入学者
入学者数	1 人	2 人
修了者数	0 人	1 人
標準修業年限修了率	0 %	50.0%

⑤外国人留学生の状況

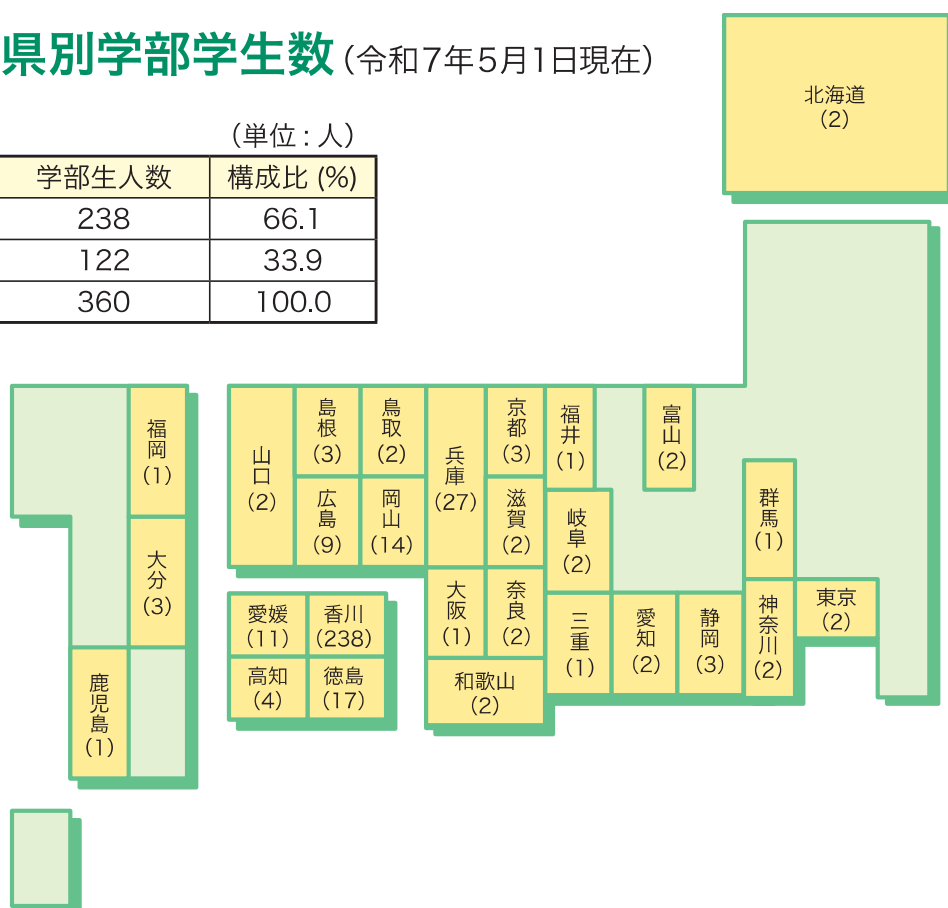
	令和 6 年入学者	令和 7 年度入学者
外国人留学生	0人	0人

※ここでいう「外国人留学生」とは、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定める「留学」の在留資格を有する学生を指す。

(3) 出身県別学部学生数 (令和7年5月1日現在)

(单位:人)

区 分	学部生人数	構成比 (%)
県 内	238	66.1
県 外	122	33.9
計	360	100.0



(4) 令和7年3月卒業生・修了生の進路

学 科 等			看護学科		臨床検査学科		保健医療学研究科 (助産学) (公衆衛生看護学)					合計
職 種			看護師	その他	臨床検査技師	その他	看護師助産師	助産師	看護師	保健師	その他	
就職	県内	香川県、香川県立病院	7人				2人		1人			10人
		市町、市町立病院	1人		5人					1人		7人
		国、独立行政法人	1人					2人				3人
		大学附属病院	10人				1人					11人
		高松赤十字病院	9人				3人					12人
		その他の病院、施設	6人	1人	2人	1人		1人	1人			12人
		小 計	34人	1人	7人	1人	6人	3人	2人	1人		55人
	県外	都道府県、都道府県立病院 地方独立行政法人	5人		2人							7人
		市町村、市町村立病院 地方独立行政法人	11人		1人							12人
		国、独立行政法人										
		大学附属病院	4人		1人							5人
		日本赤十字社関連施設			1人							1人
		その他の病院、施設等	1人		3人						1人	5人
		小 計	21人		8人						1人	30人
	計		55人	1人	15人	1人	6人	3人	2人	1人	1人	85人
現 職 継 続											7人	7人
進 学			11人		1人							12人
そ の 他												
合 計			67人		17人		9人		3人		8人	104人

(5) 国家試験の合格状況

区 分	令和5年度			令和6年度		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
看 護 師	70人	70人	100.0%	67人	67人	100.0%
保 健 師	1人	1人	100.0%	3人	3人	100.0%
助 産 師	9人	9人	100.0%	9人	9人	100.0%
臨 床 検 査 技 師	19人	19人	100.0%	17人	17人	100.0%

(6) 奨学生の状況

日本学生支援機構奨学生状況

		令和5年度					令和6年度				
		貸与				給付	貸与				給付
		一種	二種	併用	計		一種	二種	併用	計	
看護学科	1年	10人	4人	1人	15人	9人	11人	3人	4人	18人	12人
	2年	10人	10人	5人	25人	11人	9人	3人	1人	13人	7人
	3年	16人	6人	1人	23人	15人	10人	10人	5人	25人	10人
	4年	7人	3人	3人	13人	12人	14人	5人	1人	20人	16人
臨床検査学科	1年	2人	4人	0人	6人	3人	2人	4人	0人	6人	3人
	2年	4人	1人	1人	6人	5人	1人	4人	0人	5人	4人
	3年	3人	1人	0人	4人	5人	2人	1人	1人	4人	4人
	4年	3人	1人	1人	5人	6人	3人	1人	0人	4人	5人
保健医療学研究科	1年	3人	0人	0人	3人		4人	0人	0人	4人	
	2年	3人	1人	1人	5人		3人	0人	0人	3人	
	3年	0人	0人	0人	0人		0人	0人	0人	0人	
計		61人	31人	13人	105人	66人	59人	31人	12人	102人	61人

(7) 学生相談

学生相談室利用状況

施設の名称：学生相談室

開室時間：予約制

スタッフ：臨床心理士 1名（非常勤）、学内相談員 4名（教職員兼務）

年間相談延件数：令和5年度 19件 令和6年度 33件

(8) 課外活動

① サークル活動（令和7年3月現在）

・学生団体名

バレーボールサークル、バドミントンサークル、茶道サークル、軽音楽サークル、写真サークル、フットサルサークル、吹奏楽サークル、図書サークル（ビブリア）、香川県青年赤十字奉仕団サークル、バスケットボールサークル、アウトドアサークル、The ☆ダンスサークル、テニスサークル、マンガ研究会、陸上競技部

・団体数計 15団体

・サークル登録延人数 203人

・後援会補助金額（予定） 800,000円

② その他

令和6年度においては、新入生交流会と大学祭を開催した。

図書館の状況

(1) 運営状況

- 開館時間：通 常……9時～21時30分
土曜日……9時15分～13時
長期休業期間中など……9時～17時
短縮開館時……9時～19時
- 休 館 日：日曜、長期休業期間中の土曜日、祝日、資料整理日、
開学記念日（10月20日）、年末年始
- 閲覧室の面積：475㎡
- 座 席 数：閲覧席84席、視聴覚ブース6席
- 収納可能冊数：開 架 4万冊
書 庫 6万冊

(2) 図書館資料の整備状況

（令和6年度末現在）

区 分	図 書（冊）				雑 誌（種）			視聴覚資料 （点）
	和 書	洋 書	小 計	蔵書 合計	購入 和雑誌	購入 洋雑誌	オンライン ジャーナル	
受入数	1,240	1	1,241	82,241	67	0	0	845

(3) 利用状況（令和6年度）

開館日数：269 日

貸出冊数				貸出人数			
学 生	教職員	学外者	合 計	学 生	教職員	学外者	合 計
5,128冊	1,225冊	497冊	6,850冊	2,527人	544人	294人	3,365人

相互利用		参考調査
依 頼	受 付	
215件	0件	271件

(1) 地域連携推進センター事業

【地域住民交流事業】

健康サポーター養成講座

- 日時 令和6年8月～11月
- 場所 保健医療大学
- 内容 講義「ボランティア活動の心構え」
健康課題をテーマにした企画・ポスター作成、発表
健康測定等フィールド活動

【専門職支援事業】

①かがわメンタルヘルス研究会

- 日時 令和6年10月23日(水)ほか
- 内容 精神保健医療福祉に関する研修会
テーマ「「お金」～Aさんの事例を通じて～」ほか

②地域子育て支援研究会

- 日時 令和6年6月7日(金)ほか
- 場所 高松市はらこども園子育て支援センター「にこにこキッズセンター」
- 内容 ミニ講座、子育て健康相談

③在宅ケア学びあい塾

- 日時 令和6年5月20日(月)ほか
- 内容 セミナー（Web開催）
テーマ「一生涯がいを支える訪問看護」ほか

④Living in Japan Kagawa研究会

- 日時 令和6年7月18日(木)ほか
- 内容 やさしい日本語講座、健康相談等

⑤Sim Club Kagawa

- 日時 令和6年5月20日(月)ほか
- 内容 模擬患者養成講座

⑥香川多胎支援研究会

- 日時 令和6年9月24日(火)ほか
- 内容 妊娠期から育児期の多胎児家族の支援についての情報交換、多胎教室の視察

(2) 公開講座 ～ テーマ『健やかに生きよう』～

【第1回】 令和6年8月20日(火)

香川県立保健医療大学大講義室

講座内容	講師	参加者数
あなたの情報利用は大丈夫ですか？	教授 比江島 欣愼	49人
血液型よもやま話	准教授 宮川 朱美	

【第2回】 令和6年11月21日(木)

香川県庁12階第1会議室

講座内容	講師	参加者数
乳幼児のからだの特徴を知って育児に活かそう！	教授 枝川 千鶴子	19人
リポタンパク質を知ろう！ほんとは知りたいそこんとこ —なにが悪玉？ なにが善玉？—	教授 多田 達史	

(3) 施設開放

①見学受け入れ

	小学校	中学校	高等学校	計
令和5年度	0件	0件	3件	3件
令和6年度	0件	0件	2件	2件

②施設貸出

	テニスコート	グラウンド	大講義室	一般講義室	体育館
令和5年度	0件	96件	3件	7件	0件
令和6年度	0件	88件	3件	10件	1件

③図書館学外者利用

	入館者数	貸出者数	貸出冊数
令和5年度	272人	140人	248冊
令和6年度	490人	294人	497冊

(4) オープンキャンパス

● 日 時 令和6年7月28日(日)12:30～16:30

● 場 所 大講義室、各実習室ほか

● 参加人数 523人

《ミニオープンキャンパス》

● 日 時 令和6年11月2日(土)10:00～12:00

● 場 所 206講義室

● 参加人数 20人

(5) 高校等への出張講座 (令和6年度) (延べ人数)

高校等へ出向いた本学教員数 看護学科26人 臨床検査学科20人

(6) 委員等への就任及び講師等の派遣 (令和6年度) (延べ人数・回数)

	看護学科	臨床検査 学科	学長・ 副学長	計
国・県・市町の審議会及び関係諸 団体の委員・役員等への就任	34	8	8	50
講演・研修の講師等の派遣	59	9	13	81

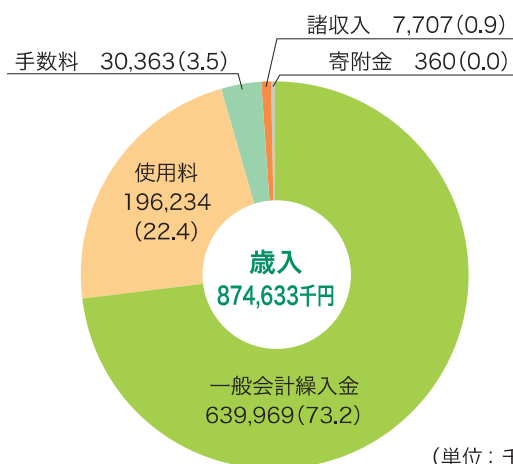
財務状況

(1) 令和7年度 歳入歳出予算

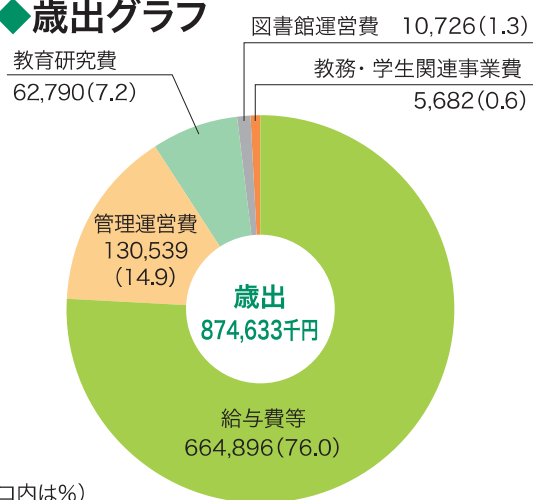
歳入	科目等		金額
	使用料	授業料等	196,234千円
	手数料	入学選考料、入学金等	30,363千円
	寄附金		360千円
	諸収入		7,707千円
	一般会計繰入金		639,969千円
	歳入合計		874,633千円

歳出	科目等		金額
	給与費等		664,896千円
	管理運営費		130,539千円
	教育研究費		62,790千円
	図書館運営費		10,726千円
	教務・学生関連事業費		5,682千円
	歳出合計		874,633千円

◆歳入グラフ



◆歳出グラフ



(単位：千円、カッコ内は%)

(2) 外部資金の受け入れ状況

区分	令和6年度			
	新規申請	採 択		金額
		新規	継続	
科学研究費助成事業	22件	8件	21件	22,347千円
厚生労働科学研究費補助事業			0件	0千円
国立研究開発法人科学技術振興機構からの受託研究			0件	0千円
奨学寄附金			3件	1,500千円
受託研究			0件	0千円
学外共同研究			1件	330千円

10 施設の状況

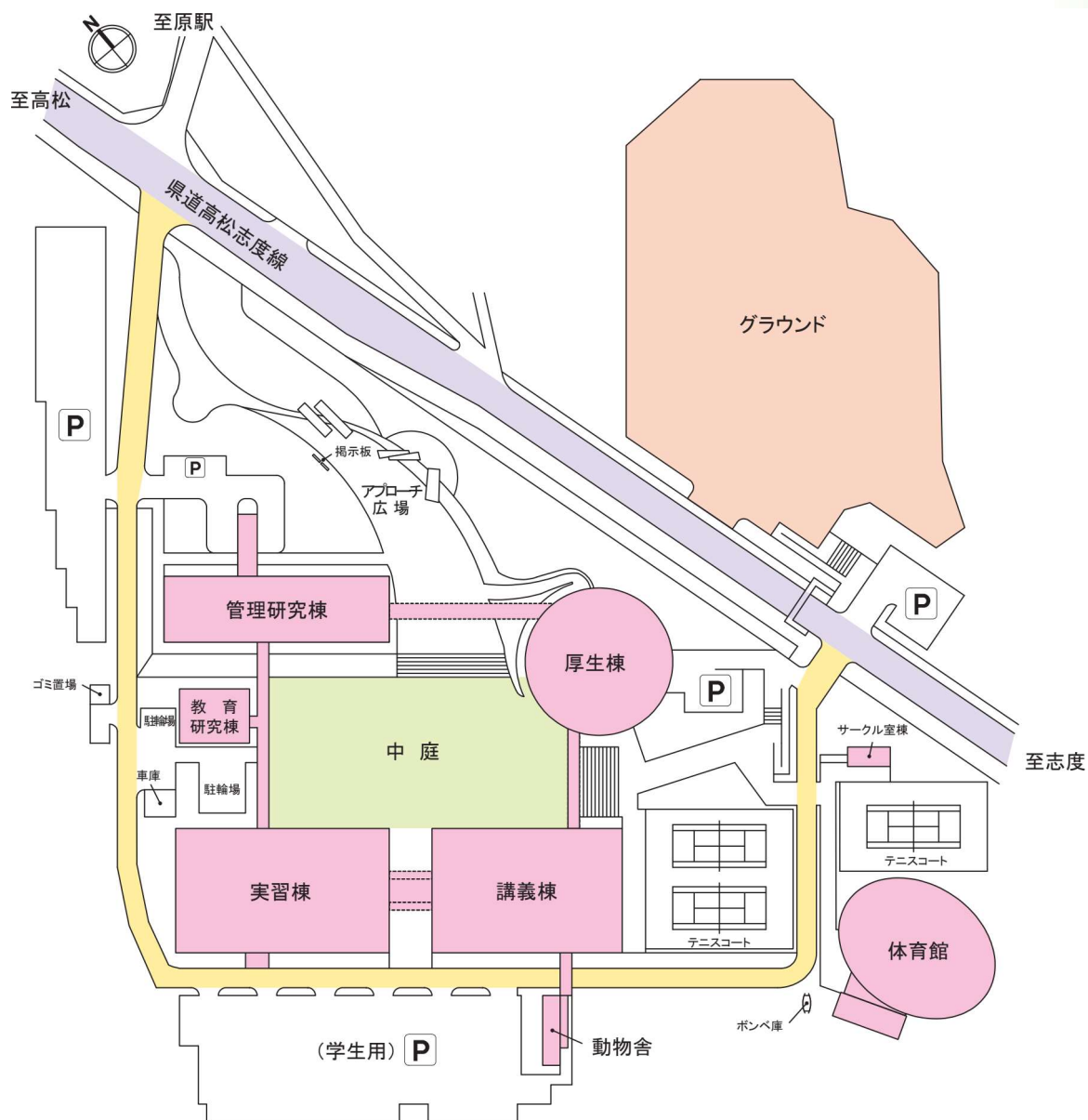
(1) 敷地面積

50,750.56㎡（校舎敷地 38,173.56㎡、運動場用地 12,577㎡）

(2) 建 物

区 分		用 途	面 積
管理研究棟		学長室、副学長室、研究室、事務室、会議室、講師控室、保健室、進路・学生相談室、応接室等	2,653.50㎡
教育研究棟		講義室、教材作成印刷室、大学院生研究室等	243.90㎡
講義棟	1・2階	講義室、情報処理教室等	4,718.55㎡
	3階	大講義室、臨床検査学科研究室等（実習室、準備室、顕微鏡観察室等）	
実習棟	1・2階	看護学科研究室等（実習室、準備室、展示室等）、学生更衣室	5,005.20㎡
	3階	臨床検査学科研究室等（実習室、準備室、標本室等） 大学院生研究室	
厚生棟		図書館、学生ホール・食堂、サークル室、音楽室、和室等	1,982.15㎡
体育館		アリーナ、ステージ、シャワー室、更衣室、器具庫等	1,168.05㎡
動物舎		飼育室、実験室等	99.40㎡
サークル室棟		サークル室、倉庫等	62.24㎡
車庫			54.42㎡
駐輪場			100.78㎡
ゴミ置場			26.71㎡
ガスボンベ庫			5.83㎡
計			16,120.73㎡

(3) 建物配置図



11. 研究活動（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

2024年度研究業績（著書）

所属	研究者	年度	和文・欧文	書名・タイトル	記述ページ	原著名・編者 (訳本の場合)	出版社	出版地	出版年月
看護学科	土岐弘美	2024	和文	看護師国試ラピッドスタディ2025 第19版	44-48, 226-229	法橋尚宏	有限会社 EDITEX	神奈川県	2024年10月
看護学科	岩本真紀	2024	和文	看護師国試ラピッドスタディ2025 第19版	p38-43, p108-114	法橋尚宏	有限会社 EDITEX	神奈川県	2024年10月
看護学科	竹内千夏	2024	和文	看護師国試ラピッドスタディ2025 第19版	48-51, 148-153	法橋尚宏	有限会社 EDITEX	神奈川県	2024年10月
看護学科	片山陽子	2024	和文	老年看護学：エンドオブライフケア 第6章Ⅱ 6	163-170		スーベルヒロカワ	東京都	2024年11月
看護学科	片山陽子	2024	和文	エンドオブライフケア学：住み慣れた地域で、最期まで尊厳をもって生きる 第2章	4-10 p	日本エンドオブライフケア学会編集	日本看護協会出版会	東京都	2024年11月
看護学科	片山陽子	2024	和文	在宅ケアスタンダード：非がん療養者への緩和ケアの必要性	168-173 p	日本在宅ケア学会編集	照林社	東京都	2025年3月
臨床検査学科	徳原康哲	2024	和文	Medical Science Digest 2025年 3月号	40-41		ニューサイエンス社	東京都	2025年2月

2024年度研究業績（原著等）

所属	研究者	年度	区分	和文・欧文	タイトル	掲載誌名	巻（号）	記述ページ	発行年
看護学科	豊田ゆかり 枝川千鶴子 野村佳代 石川桂	2024	その他	和文	医療的ケア児の普通小学校への就学支援の一事例	地域ケアリング	27(1)	67-70	2024
看護学科	中尾理恵子, 西出りつ子, 和泉京子, 上田泉, 辻よしみ, 大塚敏子, 望月由紀子	2024	その他	和文	2023年度教育体制委員会企画夏季研修会分科会報告	保健師教育	8(1)	31-35	2024
看護学科	中尾理恵子, 西出りつ子, 和泉京子, 上田泉, 辻よしみ, 大塚敏子, 望月由紀子	2024	その他	和文	教育体制委員会活動報告	保健師教育	8(2)	45	2024
看護学科	辻よしみ, 富田早苗, 森永裕美子, 吉村尚美, 杉本佳代	2024	その他	和文	中国, 四国ブロック活動報告	保健師教育	8(3)	56	2024
看護学科	神田かなえ, 中山照美, 岡田倫代, 藤川愛, 辻よしみ, 鈴江毅, 依田健志, 平尾智広	2024	その他	和文	地域の自殺予防に向けた人材育成に関する取り組み	地域環境保健福祉研究	26 (1)	47-52	2024
看護学科	Hiromi Toki , Masako Tai, Sayumi Nollima	2024	原著	欧文	"The narrowing of self as perceived by people in the early stages of dementia" -The second report-	Florence Nightingale Journal of Nursing	32(3)	303-311	2024
看護学科	Motoyoshi Motoyoshi, Yota kunieda, Akemi Yokomizo, Takashi Hongo	2024	原著	欧文	Habitual intake of carbonated drinks is associated with subjective difficulty in swallowing in community-dwelling older adults:A survey-based cross-sectional study	Scientific reports	14(1)	19774-19781	2024
看護学科	Kumiko Kido, Akemi Mitani, Yuko Uemura	2024	原著	欧文	Changes in paternal perinatal depression and its predictors from third trimester of pregnancy to one-year post-partum: a longitudinal study	Jurnal Ners, 19(3), 346-355 http://dx.doi.org/10.2047/3/jn.v19i3.58511	19(3)	346-355	2024
看護学科	江口珠美, 横溝珠実	2024	原著	和文	LGBTQ+ の子どもたち-多様な性を知ろう-	チャイルドヘルス	27(9)	687-690	2024
看護学科	森脇叶萌, 横溝珠実, 赤澤真旗子	2024	原著	和文	学業を継続しながら妊娠・出産・育児を経験した学生の困難感	インターナショナル Nursing research	23(1)	109-116	2024
看護学科	岡本さゆり, 横溝珠実, 竹崎和子	2024	原著	和文	老年看護学実習におけるアロマハンドマッサージ演習の試み-援助者の視点から-	インターナショナル Nursing research	23(2)	111-120	2024
看護学科	横溝珠実, 木岡未奈美, 櫻野千明, 岩田希子, 江口珠美, 大島義孝, 松本洋輔, 新井富士美, 佐藤俊樹, 中塚幹也	2024	原著	和文	トランジェンダー当事者の就職活動、就労の現状と課題	日本GI学会雑誌	17	15-25	2024
看護学科	江口珠美, 木岡未奈美, 横溝珠実, 岩田希子, 櫻野千明, 大島義孝, 松本洋輔, 新井富士美, 佐藤俊樹, 中塚幹也	2024	原著	和文	トランジェンダー当事者における職場でのSOGIハラメントとメンタルヘルスの実態	日本GI学会雑誌	17	27-34	2024
看護学科	小出恵子, 岡本玲子, 岡田麻里, 中瀬克巳	2024	原著	和文	市町村における既存の保健事業の改善を図る公衆衛生看護技術	日本公衆衛生看護学会誌	13 (3)	158-166	2024
看護学科	藤村保志花, 西嶋真理子	2024	原著	和文	児童虐待対応における児童相談所保健師の支援関係形成のプロセス	日本地域看護学会誌	27(1)	4-14	2024
看護学科	片山陽子	2024	その他	和文	地域の暮らしを知る「地域・在宅看護論」実習:	コミュニケーションケア	26(10)	28-31p	2024

所属	研究者	年度	区分	和文・欧文	タイトル	掲載誌名	巻(号)	記述ページ	発行年
看護学科	土岐弘美, 井下友理香	2024	その他	和文	精神看護専門看護師がトラウマの視点を持って展開した看護援助	日本CNS看護学会誌	11	11から18	2025
看護学科	小野 美穂, 太田 浩子, 上田 伊佐子	2024	その他	和文	我が国におけるがんピアサポート活動の実態 – がん診療連携拠点病院を対象に –	香川県立保健医療大学雑誌	第16巻	33-41	2025
看護学科	森田公美子, 岩本真紀, 岡西幸恵, 中島文香, 金アナナ, 近藤真紀子	2024	その他	和文	看護基礎教育の学士課程4年次における健康レベル別看護技術演習の実践報告	香川県立保健医療大学雑誌	第16巻	43-50	2025
看護学科	竹内千夏、平井智重子、吉本知恵	2024	原著	欧文	Changes in Nursing Students' Image of the Elderly after Gerontological Nursing Practice and the Factors Influencing these Changes	香川県立保健医療大学雑誌	第16巻	21-31	2025
看護学科	Isako Ueta, Hiroko Ota, Miho Ono, Chiemi Onishi, Sanae Asano, Masato Nishimura, Akiko Abe	2024	原著	欧文	Development of a scale to assess psychological adjustment in survivors of women's cancers: reliability and validity	Journal of International Nursing Research	4(1)	DOI https://doi.org/10.53044/jinr.2022-0009	2025
看護学科	神宮梓, 藤村保志花, 植原千明, 辻上しほ	2024	原著	和文	COVID-19流行下において子どもの居場所運営者が活動を継続できた要因と思い、	地球環境保健福祉研究	26(1)	11~20	2025
看護学科	藤村保志花, 西嶋真理子	2024	原著	和文	社会的養護児童と実親家庭の「親子関係再構築」の概念分析	地球環境保健福祉研究	26(1)	21~30	2025
臨床検査学科	大栗 聖由, 小河 佳織, 樋本 尚志	2024	その他	和文	ミルクテイー模取による胆汁排出促進と聴超音波画像描出能向上の関連性				2024
臨床検査学科	Kozai S, Kato I, Mizuno N, Nakamura N, Okada H, Mizuno K, Kusaka T.	2024	原著	欧文	Caffeine Concentrations in Human Milk Donated to a Human Milk Bank in Japan.	J Hum Lact.	40(2)	307-313	2024
臨床検査学科	Kondo A, Morinishi T, Yamaguchi Y, Ikegami A	2024	原著	欧文	Identification of organs of origin of macrophages that produce presepsin via neutrophil extracellular trap phagocytosis	Scientific reports	14(1)	16386	2024
臨床検査学科	Kenta Niimi, Jun Nakae, Yoshiaki Kubota, Shinobu Inagaki, Tatsuo Furuyama	2024	原著	欧文	Macrophages play a crucial role in vascular smooth muscle cell coverage	Development	151(18)	dev203080	2024
臨床検査学科	Burioka N, Hirayama Y, Endo M, Oguri M, Takata M, Ikeuchi T, Yamasaki A.	2024	原著	欧文	Objective Approach for Titration of Continuous Positive Airway Pressure in Patients with Obstructive Sleep Apnea Using Daytime Titration Continuous Positive Airway Pressure Titration Based on Respiratory Movement Regularity	J Clin Med	13(24)	7603	2024
臨床検査学科	Kanai S, Oguri M, Okanishi T, Miyamoto Y, Maeda M, Yazaki K, Matsumura R, Tozawa T, Sakuma S, Chiyonobu T, Hamano SI, Maegaki Y.	2024	原著	欧文	Predictive modeling based on functional connectivity of interictal scalp EEG for infantile epileptic spasms syndrome	Clin Neurophysiol.	167	37-48	2024
臨床検査学科	Oguri M, Kanai S, Okanishi T, Kawaguchi T, Takamori T, Maegaki Y.	2024	原著	欧文	Potentiality of Evaluating Flash Electroretinography with a Montage of Skin Electrodes Connecting the Inner Canthus to the Ear in Younger Children: A Pilot Study	Yonago acta medica	67(3)	280-283	2024
臨床検査学科	脇野 修, 児玉浩子, 吉田宗弘, 姫野原誠一郎, 小山 洋, 末富 健, 佐野元昭, 樋本尚志, 柳澤裕之	2024	総説	和文	セレン欠乏症の診療指針2024	日本臨床栄養学会雑誌	46(4)	289-374	2024

所属	研究者	年度	区分	和文・欧文	タイトル	掲載誌名	巻(号)	記述ページ	発行年
臨床検査学科	徳原康哲	2024	総説	和文	新規トリプトファン発色法の考案	臨床化学	53(2)	113-118	2024
臨床検査学科	Takashi Himoto	2024	総説	欧文	Nutritional management for chronic liver disease-Current trends and future prospects	Nutrients	17	579. doi:10.3390/nu17030579	2025

2024年度研究業績（学会発表）

所属	研究者	年度	国内・国際	種類	発表タイトル	集会等の名称	開催地	発表年月
看護学科	比江島欣慎	2024	国内学会	特別講演等	学術研究に必要な疫学・統計学の基礎知識	第47回香川県医学検査学会	香川県	2024年4月
看護学科	Hiroimi Toki, Masako Tai, Sayumi Nojima	2024	国際学会	一般演題	The narrowing of self as perceived by people in the early stages of dementia A Qualitative Study	2nd International Webinar on Nursing Care and Patient Safety	タイ	2024年5月
看護学科	岡田麻里, 虫明美喜, 虫明元, 小林秋恵 他	2024	国内学会	シンポジウム等	プレイバックシアター×ヘルスケア×ヘルスケア×地域看護－互いのストーリーから学びあう共感性あるコミュニケーションづくりを目指して－	日本地域看護学会第27回学術集会	宮城県仙台市	2024年6月
看護学科	藤村保志花, 神宮梓, 辻よしみ, 植原千明	2024	国内学会	一般演題	感染症流行下において子どもの居場所の継続に資する要因	第27回日本地域看護学会学術集会	宮城県	2024年6月
看護学科	植原千明, 藤村保志花, 辻よしみ	2024	国内学会	一般演題	公衆衛生看護学実習における事例検討会での学生の学び	第27回日本地域看護学会学術集会	宮城県	2024年6月
看護学科	竹内千夏, 長戸和子, 森下安子	2024	国内学会	一般演題	回復期にある高齢脳血管疾患患者への病棟看護師によるシームレスケアの実践内容	日本老年看護学会第29回学術集会	高知県	2024年6月
看護学科	片山陽子	2024	国内学会	シンポジウム等	地域でつなぐACP～現状と課題と未来予想図	第66回日本老年医学会	愛知県	2024年6月
看護学科	野村佳代, 豊田ゆかり, 枝川千鶴子	2024	国内学会	一般演題	医療的ケア児の就学までの取組み（その1）－特別支援学校の場合－	日本小児看護学会第34回学術集会	大阪府	2024年7月
看護学科	野村佳代, 豊田ゆかり, 石川桂, 枝川千鶴子	2024	国内学会	一般演題	医療的ケア児の就学までの取組み（その2）－地域の小学校の場合－	日本小児看護学会第34回学術集会	大阪府	2024年7月
看護学科	諏訪亜季子, 原田愛, 佐野将大, 和田知世	2024	国内学会	一般演題	脳波による意思伝達装置を拒みつつも最期まで意思を表現する在宅ALS療養者への支援の一例－異色専門家が織りなした伴走型支援－	第6回日本在宅医療連合学会大会	千葉市	2024年7月
看護学科	金アナン, 近藤真紀子	2024	国内学会	一般演題	民間組織による国際保健医療協力を経験した看護職のコンピテンシー	日本看護研究学会第50回学術集会	奈良県	2024年8月
看護学科	森田公美子	2024	国内学会	一般演題	看護師が経験するがん患者との予後に関するコミュニケーションの文献検討	日本看護研究学会第50回学術集会	奈良県	2024年8月
看護学科	岩田歩子, 江口珠美, 横溝珠実, 中塚幹也	2024	国内学会	一般演題	トランス男性とパートナーにおける子どもを持つことへの意識	第52回日本女性心身医学会学術集会	東京都	2024年8月
看護学科	多田羅光美, 小林秋恵, 森田公美子	2024	国内学会	一般演題	東日本大震災において学童期にあった当事者が体験を伝承する活動に至る過程と未来への思い	日本看護研究学会第50回学術集会	奈良県	2024年8月
看護学科	岩本真紀, 中島文香, 森田公美子, 岡西幸恵, 金アナン, 近藤真紀子	2024	国内学会	一般演題	4年次看護学総合実習における多重課題への対応に関する学生の学び－熟練看護師のシャドウイングを通して－	日本看護研究学会第50回学術集会	奈良県	2024年8月
看護学科	小江奈美子, 村内千代, 吉田多紀, 駒千恵, 伊波早苗, 小野美穂, 黒江ゆり子, 佐多愛子, 溝上貴世美, 森西可菜子, 安酸史子	2024	国内学会	シンポジウム等	交流集会：糖尿病看護にデジタル社会がたってきた－のぞいていみよう、みんなのデジタル対応－	第29日本糖尿病教育・看護学会学術集会	京都府	2024年9月
看護学科	溝上貴世美, 生駒千恵, 伊波早苗, 小江奈美子, 小野美穂, 黒江ゆり子, 佐多愛子, 村内千代, 森西可菜子, 安酸史子, 吉田多紀	2024	国内学会	シンポジウム等	あなたの声を聴かせて「こんな支援あったらいいな」をJADENに届けよう	第29日本糖尿病教育・看護学会学術集会	京都府	2024年9月

所属	研究者	年度	国内・国際	種類	発表タイトル	集会等の名称	開催地	発表年月
看護学科	山本弥佑, 永瀬百子, 富永久美, 小野美穂	2024	国内学会	一般演題	地域包括ケア病棟において自宅退院する患者家族に行う効果的な家族面談の検討	第55回日本看護学会学術集会	熊本県	2024年9月
看護学科	山口愛波, 小松原幸枝, 小野美穂	2024	国内学会	一般演題	A病院看護師のコミュニケーションスキルに関する実態調査	第55回日本看護学会学術集会	熊本県	2024年9月
看護学科	亀山美由紀, 楠本知美, 彦坂典子, 西村かをる, 竹内千夏	2024	国内学会	一般演題	重症心身障害児・者のレクリエーション活動に対する看護者の意識調査	第55回日本看護学会学術集会	熊本県	2024年9月
看護学科	梶井文子, 荻野美恵子, 片山陽子, 坂井志麻他	2024	国内学会	一般演題	臨床と研究をつなぐベティーサロン	第7回日本エンドオブライフケア学会	群馬県	2024年9月
看護学科	坂井志麻, 西川裕理, 片山陽子, 足立智孝他	2024	国内学会	シンポジウム等	本人とすすめるACPファシリテートについて語ろう	第7回日本エンドオブライフケア学会	群馬県	2024年9月
看護学科	長江弘子, 谷垣静子, 片山陽子, 坂井志麻, 仁科祐子, 彦聖美, 乗越千枝, 照井レナ, 岡田麻里, 横溝珠美	2024	国内学会	シンポジウム等	レッツトークカードを使って語ろう！今、大切にしていること	第7回日本エンドオブライフケア学会学術集会	石川県	2024年10月
看護学科	岡田麻里, 木村年男, 幡多正樹, 和田知世, 他	2024	国内学会	シンポジウム等	「つながろう・つなげようー地域の困りごとに地域の力を活かした取り組みー」	日本在宅医療連合学会第6回地域フォーラム四国（高松）シンポジウム	香川県高松市	2024年10月
看護学科	市川英明, 岡田麻里, 大庭憲史, 他	2024	国内学会	シンポジウム等	壮年期がんと患者への支援ー家族との関係性の構築、協調、支援についてー	日本在宅医療連合学会第6回地域フォーラム四国（高松）シンポジウム	香川県高松市	2024年10月
看護学科	長江弘子, 谷垣静子, 片山陽子, 坂井志麻, 仁科祐子, 彦聖美, 乗越千枝, 照井レナ, 岡田麻里, 横溝珠美	2024	国内学会	シンポジウム等	レッツトークカードを使って語ろう！今、大切にしていること	日本エンドオブライフケア学会誌	石川県	2024年10月
看護学科	藤村保志花, 辻よしみ, 横溝珠美, 植原千明	2024	国内学会	一般演題	若者世代における健康づくり政策への思い〜外国人留学生へのインタビュー〜【第2報】	第83回日本公衆衛生看護学会総会	北海道	2024年10月
看護学科	中正成美, 横溝珠美, 中塚幹也	2024	国内学会	一般演題	妊娠中から産後の各時期の辛かったこと・相談の実態と乳児全戸訪問時のEPDSとの関連	第39回岡山県母性衛生学会	岡山県	2024年10月
看護学科	横溝珠美, 江口珠美, 岩田歩子, 小野裕香, 難波玲奈, 田中映里, 中塚幹也	2024	国内学会	一般演題	トランスジェンダー当事者の就職活動における困難	第65回日本母性衛生学会学術集会	宮崎県	2024年10月
看護学科	江口珠美, 横溝珠美, 岩田歩子, 小野裕香, 難波玲奈, 田中映里, 中塚幹也	2024	国内学会	一般演題	トランスジェンダー当事者が経験する職場でのSOGIハラ・スメントとメンタルヘルスの現状	第65回日本母性衛生学会学術集会	宮崎県	2024年10月
看護学科	田中映里, 小野裕香, 難波玲奈, 江口珠美, 岩田歩子, 横溝珠美, 中塚幹也	2024	国内学会	一般演題	高校生における「生理の貧困」の実態と関連要因	第65回日本母性衛生学会学術集会	宮崎県	2024年10月
看護学科	難波玲奈, 小野裕香, 田中映里, 江口珠美, 岩田歩子, 横溝珠美, 中塚幹也	2024	国内学会	一般演題	保育・幼児教育に携わるスタッフにおける就学前の子どもへの性教育に対する意識と実態	第65回日本母性衛生学会学術集会	宮崎県	2024年10月
看護学科	小野裕香, 難波玲奈, 田中映里, 小野恵, 江口珠美, 岩田歩子, 横溝珠美, 中塚幹也	2024	国内学会	一般演題	生殖医療への保健適応拡大と不妊・不育女性の経済的・心理的負担	第65回日本母性衛生学会学術集会	宮崎県	2024年10月
看護学科	辻よしみ, 藤村保志花, 横溝珠美, 植原千明	2024	国内学会	一般演題	若者世代における健康づくり政策への参加に対する思い【第1報】	第83回日本公衆衛生学会	北海道札幌市	2024年10月
看護学科	植村裕子, 木戸久美子	2024	国内学会	一般演題	助産師教育における臨床判断能力を高める教育設計モデルの有用性	第38回日本助産学会学術集会	オンライン開催	2024年10月

所属	研究者	年度	国内・国際	種類	発表タイトル	集会等の名称	開催地	発表年月
看護学科	木戸久美子, 植村裕子	2024	国内学会	一般演題	分娩誘発および促進法による出産体験とは？：メタシンセシス	第38回日本助産学会	オンライン開催	2024年10月
看護学科	山縣千尋, 岩崎孝子, 長江弘子, 岡田麻里, 他	2024	国内学会	一般演題	地域で行われているAdvance Care Planningの介入研究の方法と評価に関するレビュー	日本エンドオブライフケア学会誌	石川県	2024年10月
看護学科	土河美智子, 木戸久美子	2024	国内学会	一般演題	本邦における自律した助産師が有するマタニティケア能力とは？：文献レビュー	第38回日本助産学会	オンライン開催	2024年10月
看護学科	長江弘子, 谷垣静子, 片山陽子, 坂井志麻他	2024	国内学会	シンポジウム等	レッツトークカードを使って語ろう！今、大切にしていること	第7回日本エンドオブライフケア学会	群馬県	2024年10月
看護学科	坂井志麻, 西川裕理, 片山陽子, 足立智孝他	2024	国内学会	一般演題	ACPファシリテーターの実践能力(コンピテンシー)に関する文献レビュー	第7回日本エンドオブライフケア学会	群馬県	2024年10月
看護学科	岩城佳代, 平井智重子, 坪内あゆみ, 増田博彦, 三宅運, 光中弘毅	2024	国内学会	一般演題	クリニックにおけるフットケアに対する意識調査	第5回日本フットケア・足病医学会年次学術集会	兵庫県	2024年11月
看護学科	清水加代, 木戸久美子	2024	国内学会	一般演題	周産期から産後1年における初産の母親の子育て疲弊感に関する研究	第25回香川母性衛生学会	香川県	2024年11月
看護学科	藤沢百花, 木戸久美子	2024	国内学会	一般演題	重度の会陰裂傷後に尿失禁を併発し、産後1か月で改善した事例	第25回香川母性衛生学会	香川県	2024年11月
看護学科	土河美智子, 木戸久美子	2024	国内学会	一般演題	熟練助産師の分娩期マタニティケアの実際	第25回香川母性衛生学会	香川県	2024年11月
看護学科	片山陽子, 岩本大希, 酒井昌子, 吉江悟他	2024	国内学会	シンポジウム等	オマハシステムを活用した在宅看護の実践と評価の可視化	第13回日本在宅看護学会	千葉県	2024年11月
看護学科	長江弘子, 谷垣静子, 坂井志麻, 岡田麻里, 横瀬珠美, 仁科祐子, 栗越千枝, 照井レナ, 彦聖美, 小池愛弓, 中村円	2024	国内学会	シンポジウム等	日本型対話促進ツールとして開発したLet's Talk Card の活用を試みて：実用可能性の検討	第44回日本看護科学学会学術集会	熊本県	2024年12月
看護学科	長江弘子, 谷垣静子, 坂井志麻, 岡田麻里, 他	2024	国内学会	シンポジウム等	日本型対話促進ツールとして開発した「Let's Talk Cardej」の活用を試みて：実用可能性の検討	日本看護科学学会第44回学術集会（熊本）交流集会	熊本県	2024年12月
看護学科	大西玲奈, 土岐弘美	2024	国内学会	一般演題	抑うつ傾向が高い婦人に対して経験年数5年以上の助産師が行う看護援助	日本看護科学学会第44回学術集会	熊本県	2024年12月
看護学科	森田公美子	2024	国内学会	一般演題	多発性骨髄腫の罹患とそれに対応していく当事者の経験	第44回日本看護科学学会学術集会	熊本県	2024年12月
看護学科	藤村保志花, 伊達歩, 辻よしみ, 植原千明	2024	国内学会	一般演題	一時保護所における感染症対策の実態調査	第30回日本子ども虐待防止学会学術集会	香川県	2024年12月
看護学科	藤村保志花, 辻よしみ, 植原千明	2024	国内学会	一般演題	事例検討会を通しての保健師の学びに関する研究	第13回日本公衆衛生看護学会学術集会	愛知県	2025年1月
看護学科	横瀬珠美, 辻よしみ, 藤村保志花, 植原千明	2024	国内学会	一般演題	働き盛り世代における健康づくり政策への参加に対する思い	第13回日本公衆衛生看護学会学術集会	愛知県	2025年1月
看護学科	Ando Moe, Kumiko Kido	2024	国際学会	一般演題	What Are Women's Experiences with Midwife-Led Maternity Care?	5th International Virtual Conference on Nursing Research, Patient Safety	オンライン開催	2025年2月

所属	研究者	年度	国内・国際	種類	発表タイトル	集会等の名称	開催地	発表年月
看護学科	Hiroshi Abe, Akari Chiba, Teramoto Kenta, Akemi Yokomizo, Soichiro Mochizuki, Aiko Sato	2024	国際学会	一般演題	Activities and Challenges of Community Dementia Support Promoters in Japan	15th International Nursing Conference & 28th Eafons	韓国	2025年2月
看護学科	上田伊佐子, 太田浩子, 小野美穂, 雄西智恵美	2024	国内学会	一般演題	女性がんサバイバーの心理的適応に至るための強み	第39回日本がん看護学会学術集会	北海道札幌市	2025年2月
看護学科	金アナン, 近藤真紀子	2024	国内学会	一般演題	国際保健医療協力を経験した看護職に関する文献レビュー	日本看護研究学会中国・四国会第37回学術集会	愛媛県	2025年3月
看護学科	藤村保志花, 西嶋真理子	2024	国内学会	一般演題	社会的養護児童と元家庭の「親子関係再構築」の概念分析	第37回日本看護研究学会中国・四国地方会学術集会	愛媛県	2025年3月
看護学科	横溝珠実, 山田莉央, 江口珠美, 岩田歩子, 潘新玉, 中正成美, 井上理絵, 中塚幹也	2024	国内学会	一般演題	性別不当事者の男女別の施設使用に対する大学生の意識	第26回GI学会学術集会	東京都	2025年3月
看護学科	西田康平, 櫻野千明, 新井富士美, 江口珠美, 潘新玉, 中正成美, 岩田歩子, 井上理絵, 横溝珠実, 中塚幹也	2024	国内学会	一般演題	国内における性別不当事者へのホルモン療法の薬剤と臨床的評価方法の実態	第26回GI学会学術集会	東京都	2025年3月
看護学科	中正成美, 河田明日香, 井上理恵, 山川詩織, 佐藤美優子, 岩田歩子, 江口珠美, 潘新玉, 横溝珠実, 中塚幹也	2024	国内学会	一般演題	LGBT当事者へのライフプランに対する教員の意識：結婚、子どもをもつことに関して	第26回GI学会学術集会	東京都	2025年3月
看護学科	江口珠美, 山田莉央, 横溝珠実, 岩田歩子, 中正成美, 潘新玉, 井上理絵, 中塚幹也	2024	国内学会	一般演題	性別不当事者の性別変更の要件に対する大学生の意識	第26回GI学会学術集会	東京都	2025年3月
看護学科	櫻野千明, 山川詩織, 西田康平, 河田明日香, 佐藤美優子, 岩田歩子, 江口珠美, 潘新玉, 中正成美, 井上理絵, 横溝珠実, 中塚幹也	2024	国内学会	一般演題	全国の産婦人科施設代表者における「LGBTQ当事者への生殖医療」に対する意識と実態	第26回GI学会学術集会	東京都	2025年3月
看護学科	岡田麻里, 竹内千夏, 欠田美奈子, 他	2024	国内学会	一般演題	チーム医療―地元ブレイバックシアター劇団と共にチームワークを学ぶ―	稲やかな社会変革としての演劇的手法―ブレイバックシアターの挑戦―	宮城県仙台市	2025年3月
看護学科	小林秋恵	2024	国内学会	一般演題	労働者への脳卒中一次予防教育活動における産業保健師の経験学習	第50回日本脳卒中学会学術集会	大阪市	2025年3月
臨床検査学科	Takashi Himoto, Keiko Miyatake, Takashi Maeba, Tsutomu Masaki	2024	国際学会	一般演題	Clinical characteristics of non-obese patients with nonalcoholic fatty liver disease	33rd Annual Meeting of APASL	京都府	2024年4月
臨床検査学科	徳原康哲	2024	国内学会	シンポジウム等	新規臨床検査法の開発につながるシーズの創出	日本医療検査科学会第38回春季セミナー	石川県	2024年4月
臨床検査学科	榎本尚志, 藤田浩二, 三村志麻, 谷丈二, 森下朝洋, 正木 勉	2024	国内学会	一般演題	原発性胆汁性胆管炎患者における血清亜鉛および銅値の臨床的意義について	第110回日本消化器病学会総会	徳島県	2024年5月
臨床検査学科	大栗 聖由, 小西 行彦, 神内 済, 日下 隆	2024	国内学会	一般演題	学童期におけるDuchenne型筋ジストロフィー患者の横隔膜筋厚	第66回日本小児神経学会学術集会	愛知県	2024年5月
臨床検査学科	大栗 聖由, 上原 一剛, 岡西 徹, 前垣 義弘	2024	国内学会	一般演題	機械学習を用いた急性期脳波のpower spectrum mapによるAESDの診断	第66回日本小児神経学会学術集会	愛知県	2024年5月
臨床検査学科	岡田 仁	2024	国内学会	シンポジウム等	ビリルビン検査法の特性と限界 アセトアミノフェン, 直接ビリルビンによるアンバウンด์ビリルビン測定への影響について	第61回日本周産期・新生児医学学会学術集会	大阪府	2024年7月

所属	研究者	年度	国内・国際	種類	発表タイトル	集会等の名称	開催地	発表年月
臨床検査学科	森田啓督、坂東里佳、西岡克文、井上公太、有岡誠、中尾泰治、森本絢、中村眞嗣、小谷野耕佑、安田真之、岩瀬孝志、岡田仁、伊藤進、日下隆	2024	国内学会	一般演題	高非抱合型ビリルビン血症の新生児における直接ビリルビン測定値（酵素法）へのビリルビン光異性体の影響	第127回日本小児科学会学術集会	福岡県	2024年7月
臨床検査学科	福家典子、赤井真優、品部裕太、井上公太、井上依里、横田崇之、入江加奈子、荻田博也、若林善幸、近藤健夫、近藤園子、小西行彦、西庄佐恵、岩瀬孝志、日下隆、岡田仁	2024	国内学会	一般演題	当院で行った長期入院中の高校生の教育支援	第127回日本小児科学会学術集会	福岡県	2024年7月
臨床検査学科	森田 啓督、品部 佑太、西岡 克文、井上 公太、有岡 誠、森本 絢、中村 信嗣、小谷野 耕佑、安田 真之、岩瀬 孝志、岡田 仁、伊藤 進、日下 隆	2024	国内学会	一般演題	ビリルビンオキシダーゼ法による直接ビリルビン測定値へのビリルビン光構造異性体の影響	第61回日本周産期・新生児医学会学術集会	大阪府	2024年7月
臨床検査学科	池亀彰彦、近藤明宏、山口雄介、奥谷唯、前川千夏、多田達史	2024	国内学会	一般演題	好中球細胞外トラップ(NETs)検出のためのフローサイトメトリー法によるNox2の有用性	第25回日本検査血液学術集会	広島県	2024年7月
臨床検査学科	河田花奈、萱野りよ、宮川朱美	2024	国内学会	一般演題	Rh表現型と生化学自動分析装置を用いたRhD血液型測定定量結果との関連についての研究	第18回生物試料分析科学会中国四国支部学術集会	香川県	2024年8月
臨床検査学科	中村静菜、田邊啓介、樋本尚志	2024	国内学会	一般演題	ヒストグラム計測による高輝度障の診断および高輝度障の臨床的特徴について	第18回生物試料分析科学会中国四国支部学術集会	香川県	2024年8月
臨床検査学科	奥谷唯、前川千夏、近藤明宏、池亀彰彦	2024	国内学会	一般演題	敗血症スクリーニングのための次亜塩素酸検出の有用性	第18回生物試料分析科学会中国四国支部学術集会	香川県	2024年8月
臨床検査学科	萱野りよ、松永望、榎本泰雄、片山誠一	2024	国内学会	一般演題	菌体表面に存在するGAPDHとウェルシュ菌自己溶解酵素オートリシンの共局在	第97回日本細菌学会総会	北海道	2024年8月
臨床検査学科	多田達史	2024	国内学会	一般演題	生化学自動分析装置を用いたエステラーゼ活性測定法の検討	第18回生物試料分析科学会中国四国支部学術集会	香川県	2024年8月
臨床検査学科	庄司文、小原一朗、山口健太郎、徳原康哲	2024	国内学会	一般演題	エレクトロスプレーイオン化質量分析法 (ESI-MS) を用いたアルカプトン尿の検出に関する基礎的検討	第18回 生物試料分析科学会中国四国支部学術集会	香川県	2024年8月
臨床検査学科	岩本捷瑚、太田安彦、多田達史	2024	国内学会	一般演題	生化学自動分析装置による溶結検体を用いた非溶血時測定値推定の検討—LD—	第18回生物試料分析科学会中国四国支部学術集会	香川県	2024年8月
臨床検査学科	末遷千草、西岡凌、奥田潤	2024	国内学会	一般演題	<i>Edwardsiella piscicida</i> のヒラメ上皮様細胞への付着性に関する検討	第77回日本細菌学会中国・四国	岡山県	2024年10月
臨床検査学科	岡田仁、小谷野 耕佑、萱野りよ、有岡 誠、森田 啓督、中村 信嗣、安田 真之、伊藤 進、日下 隆	2024	国内学会	一般演題	新しい緑色LED光源による臨床効果とビリルビン光異性体生成について	第22回日本新生児黄疸管理研究科会	愛知県	2024年10月
臨床検査学科	新美健太、古山達雄	2024	国内学会	一般演題	網膜におけるSALL1の発現分布	日本解剖学会第78回中国・四国支部学術集会	山口県	2024年10月
臨床検査学科	萱野りよ、松永望、榎本泰雄、片山誠一、【会員外共同研究者】江見省吾、岡田仁、宮川朱美	2024	国内学会	一般演題	ウェルシュ菌自己溶解酵素オートリシンと細胞表層に表出するGAPDHの複合体形成とその役割	第77回日本細菌学会中国・四国支部	岡山県	2024年10月
臨床検査学科	近藤明宏、山口雄介、森西起也、池亀彰彦	2024	国内学会	一般演題	好中球細胞外トラップを食したM1マクロファージにおけるProteinase-3を介したブレゼブシン産生機序の解明	日本医療検査科学会第56回大会	神奈川県	2024年10月
臨床検査学科	小河佳織、大栗聖由、樋本尚志	2024	国内学会	一般演題	僧帽筋ストレーンエンラストグラフィ検査における関心領域の検討	第71回日本臨床検査医学会	大阪府	2024年11月

所属	研究者	年度	国内・国際	種類	発表タイトル	集会等の名称	開催地	発表年月
臨床検査学科	香西祥子、岡田仁、光家智仁、光家努、加藤育子、日下隆	2024	国内学会	一般演題	新生児悪性肺炎患の予防に対するデキサメタゾン吸入療法におけるデキサメタゾン移行に関する基礎的検討.	第63回 日本薬学会・日本薬利師会・日本病院薬利師会 中国四国支部学術大会	岡山県	2024年11月
臨床検査学科	定村孝明、樺殿未来、只友碧子、川口菜奈、杉野政城、中野彰子、久保井徹、小谷野耕佑、安田真之、岡田仁、日下隆	2024	国内学会	一般演題	新生児高ビリルビン血症に対するグリーンLEDによる光療法の安全性の検討	第68回 日本新生児成育医学会・学術集会	長野県	2024年11月
臨床検査学科	榊本尚志、藤田浩二、三村志麻、谷丈二、森下朝洋、正木 勉	2024	国内学会	一般演題	原発性胆汁性胆管炎患者における臨床病期と相関する因子の解析	第45回 日本肝臓学会東部会	宮城県	2024年12月
臨床検査学科	横田 崇之、形見 祐人、福家 典子、藤井 喬之、田中 彩、岩瀬 孝志、岡田 仁、下野 隆一、日下 隆	2024	国内学会	一般演題	侵襲性肺炎スぺルギルス症の多発肺病変切除後に臍帯血移植を実施したT リンパ芽球性白血病の1 例	第36回 日本小児血液・がん学会学術集会	京都府	2024年12月
臨床検査学科	神内 済、太栗 聖由、小西 行彦、日下 隆、加藤 光弘	2024	国内学会	一般演題	Valproate投与開始前後の脳波パワースペクトラム解析で速波活動減少を認めたGABRB3関連てんかんの1歳男児	第35回小児神経学会中国四国地方会	岡山県	2024年12月
臨床検査学科	福家典子、横田崇之、岩瀬孝志、岡田仁、日下隆	2024	国内学会	一般演題	臍帯血移植後に好酸球性肺炎を発症したと考えられた1例	第47回 日本造血・免疫細胞療法学会総会	大阪府	2025年2月
臨床検査学科	白神望夢、青野りよ、成谷宏文、松永望、関谷洋志、玉井榮治、片山誠一	2024	国内学会	一般演題	ウェルシュ菌自己溶解酵素オートリシンの細胞壁結合部位の機能	第35回生物試料分析科学会年次学術集会	三重県	2025年3月
臨床検査学科	新美健太、稲垣忍、古山達雄	2024	国内学会	一般演題	Anti-ferroptotic role of FOXO1 in the developing lacteal endothelium	APPW2025	千葉県	2025年3月
臨床検査学科	岡田仁	2024	国内学会	特別講演等	ビリルビンと臨床検査	令和6年度香川県新生児医療症例検討会～第5回香川県新生児研究会冬季特別セミナー	香川県	2025年3月

2024年度研究業績（主催学会・研究会）

所属	研究者	年度	学会・研究会名	開催地	発表年月
看護学科	片山陽子	2024	第66回日本老年医学会学術集会	愛知県	2024年6月
看護学科	辻よしみ、藤村保志花	2024	令和6年度全国保健師教育協議会中国、四国ブロック研究会	高松市	2024年9月
看護学科	片山陽子、岡田麻里、和田知世	2024	第6回日本在宅医療連合学会地域フォーラム	高松市	2024年9月
看護学科	多田羅光美、則包和也	2024	かがわメンタルヘルス研究会研修会「精神に病いをもつ人の地域生活支援を考える - 住まう -」	高松市	2024年10月
看護学科	木戸久美子	2024	第25回香川母性衛生学術集会	香川県	2024年11月
看護学科	多田羅光美、則包和也	2024	かがわメンタルヘルス研究会研修会「精神に病いをもつ人の地域生活支援を考える - お金 -」	高松市	2024年12月
看護学科	日下隆、尾崎隆、石井有美子、枝川千鶴子、岡田仁、鈴木裕美、谷本公重、徳地暢子、松本祐子	2024	第17回香川県小児保健協会研究会	高松市	2025年2月
看護学科	辻よしみ、藤村保志花	2024	令和7年度全国保健師教育協議会中国、四国ブロック研究会	岡山市	2025年2月
看護学科	多田羅光美、則包和也	2024	かがわメンタルヘルス研究会研修会「精神に病いをもつ人の地域生活支援を考える - 働く -」	高松市	2025年2月
看護学科	土岐弘美	2024	若年性認知症コーデイネータ事業・若年性認知症自立支援ネットワーク研修会	香川県	2025年3月
臨床検査学科	多田達史、太田安彦、宮川朱美	2024	第18回生物試料分析科学会中国四国支部学術集会	高松市	2024年8月

所属	研究者	年度	学会・研究会名	開催地	発表年月
臨床検査学科	大栗聖由	2024	日本神経生理検査研究会中国四国支部研修会	徳島県	2024年8月
臨床検査学科	大栗聖由	2024	香川県臨床検査技師会 生理部門研修会	高松市	2025年2月
臨床検査学科	大栗聖由	2024	日本神経生理検査研究会中国四国支部研修会	Web	2025年3月

2024年度研究業績（講演会等）

所属	研究者	年度	研究会・研修会の名称	講演タイトル	開催地	開催日
看護学科	土岐弘美	2024	みとよ市民病院 管理職会議	コンサルテーション	香川県	2024年4月
看護学科	辻よしみ	2024	香川県・高松市合同プリセプター研修	プリセプターの役割	香川県	2024年5月
看護学科	小林秋恵	2024	新人看護職員多施設研修会新人指導者対象研修	看護基礎教育の現状、新人看護師の技術習得状況	香川県	2024年5月
看護学科	辻よしみ	2024	看護管理者ファーストレベル研修	保健医療福祉制度の体系	香川県	2024年6月
看護学科	辻よしみ	2024	新任期保健師集合研修	保健師に求められる個別指導～前向き子育て支援から学ぶ～	香川県	2024年6月
看護学科	片山陽子	2024	令和6年度認定看護管理者教育課程サードレベル研修会	ヘルスケアシステム論Ⅲ（2日間）	香川県	2024年6月
看護学科	辻よしみ	2024	保健指導実践者育成研修	保健指導の展開・評価	香川県	2024年7月
看護学科	辻よしみ	2024	東讃新任期保健師研修	コンサルテーション	香川県	2024年7月
看護学科	辻よしみ	2024	小豆新任期保健師研修	コンサルテーション	香川県	2024年7月
看護学科	辻よしみ	2024	中讃新任期保健師研修	コンサルテーション	香川県	2024年7月
看護学科	辻よしみ	2024	西讃新任期保健師研修	コンサルテーション	香川県	2024年7月
看護学科	辻よしみ	2024	高松市新任期保健師研修	コンサルテーション	香川県	2024年7月

所属	研究者	年度	研究会・研修会の名称	講演タイトル	開催地	開催日
看護学科	多田羅光美	2024	日本精神科病院協会香川県支部看護部長会研修会	倫理的観点から日常の看護を考えてみよう	香川県	2024年7月
看護学科	小林秋恵	2024	看護力再開発講習会	看護過程・看護記録	香川県	2024年7月
看護学科	片山陽子	2024	香川県介護支援専門員協議会研修会	介護支援専門員と訪問看護の連携	香川県	2024年7月
看護学科	片山陽子	2024	日本在宅医療連合学会ワークショップ	多職種で実践するACP	千葉県	2024年7月
看護学科	辻よしみ	2024	新任期保健師集合研修	母子健康手帳の活用	香川県	2024年8月
看護学科	辻よしみ	2024	中讃ファシリテーション研修（事例検討）	事例検討の基本、事例検討指導	香川県	2024年8月
看護学科	土岐弘美	2024	介護職員の質向上・定着支援	メンタルヘルス研修	香川県	2024年8月
看護学科	片山陽子	2024	丸亀市市民福祉講座	人生会議	香川県	2024年8月
看護学科	片山陽子	2024	第55回全国看護高等学校研究協議会大会分科会	地域・在宅看護論カリキュラム改正に伴う授業展開の取り組みと課題	香川県	2024年8月
看護学科	辻よしみ	2024	高松市新任期保健師研修	コンサルテーション	香川県	2024年9月
看護学科	土岐弘美	2024	介護労働安定センター香川県支部 ケアサポート研修	認知症ケアについて	香川県	2024年9月
看護学科	土岐弘美	2024	2024世界アルツハイマーデー記念フォーラム	大学生による認知症カフェの実践体験報告	香川県	2024年9月
看護学科	片山陽子	2024	高松市在宅医療コーディネーター養成研修会	意思決定支援のポイント	香川県	2024年9月
看護学科	辻よしみ	2024	実習指導者講習会	保健師教育課程	香川県	2024年10月

所属	研究者	年度	研究会・研修会の名称	講演タイトル	開催地	開催日
看護学科	土岐弘美	2024	香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会	集団討議の方法	香川県	2024年10月
看護学科	土岐弘美	2024	介護労働安定センター香川県支部 ケアサポ ート研修	認知症ケアについて	香川県	2024年10月
看護学科	植村裕子	2024	香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会	実習指導：母性看護学	香川県	2024年10月
看護学科	木戸久美子	2024	香川県立農業経営高等学校 性教育講演	今知っておきたい性の知識	香川県	2024年10月
看護学科	森田公美子	2024	がん教育ゲストティーチャー派遣事業高松市 立牟礼中学校	がん細胞を知る科学的ながんの知識がらんちゃ んと学ぼう	香川県	2024年10月
看護学科	小林秋恵	2024	香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会	実習指導の概論：基礎看護学	香川県	2024年10月
看護学科	小林秋恵	2024	香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会	指導案作成の考え方	香川県	2024年10月
看護学科	片山陽子	2024	高松市在宅医療コーディネーター養成研修会	介護保険・保険外サービスを知る	香川県	2024年10月
看護学科	片山陽子	2024	令和6年度香川県保健師助産師看護師実習指導 者講習会	在宅看護学：実習指導の概論	香川県	2024年10月
看護学科	片山陽子	2024	令和6年度訪問看護師養成研修会	地域におけるヘルスケアサービスの仕組みと 連携	香川県	2024年10月
看護学科	辻よしみ	2024	西讃ファシリテーション研修（事例検討）	事例検討の基本、事例検討指導	香川県	2024年11月
看護学科	辻よしみ	2024	高松市ファシリテーション研修（事例検討）	事例検討の基本、事例検討実践	香川県	2024年11月
看護学科	植村裕子	2024	いのちのせんせい	たいせつないのち 綾川町立滝宮小学校2年生	香川県	2024年11月
看護学科	植村裕子	2024	いのちのせんせい	たいせつないのち さぬき市立さぬき北小学 校4年生	香川県	2024年11月

所属	研究者	年度	研究会・研修会の名称	講演タイトル	開催地	開催日
看護学科	土岐弘美	2024	高知医療センター看護局キャリア開発&ストレスマネジメント研修	10年目の看護師のストレスマネジメント	高知県	2024年11月
看護学科	比江島欣慎	2024	日本消化器内視鏡技師会第1回ブラッシュアップセミナー	内視鏡技師のための実践統計学（検定の基本）	大阪府	2024年11月
看護学科	片山陽子	2024	高松市在宅医療コーディネーター養成研修会	それぞれの職種を知ろう	香川県	2024年12月
看護学科	片山陽子	2024	第18回岡山県がん診療連携拠点病院市民公開講座	自分らしく生きるための意思決定支援	香川県	2024年12月
看護学科	和田知世	2024	いのちの授業	子どものACP	兵庫県	2024年12月
看護学科	辻よしみ	2024	東讃ファシリテーション研修（事例検討）	事例検討の基本、事例検討指導	香川県	2025年1月
看護学科	土岐弘美	2024	認知症の人を支える家族のつどい「ひだまり」	認知症の人との接し方	香川県	2025年1月
看護学科	木戸久美子	2024	高松市こども家庭センター（母子保健）ネットワーク会議	妊娠期から子育て期までの父親支援についてー父親うっつに焦点をあててー	香川県	2025年1月
看護学科	岡田麻里	2024	東かがわ市介護支援専門員等連絡協議会研修会	ケアマネジャーさんのためのACP・自分にとって「今、大切なことを考える」・Let's Talk カードを使って	香川県	2025年1月
看護学科	小林秋恵	2024	看護力再開発講習会	看護過程・看護記録	香川県	2025年1月
看護学科	片山陽子	2024	高松市在宅医療コーディネーター養成研修会	職種を知って連携しよう	香川県	2025年1月
看護学科	片山陽子	2024	高松市在宅医療コーディネーター養成研修会	在宅医療コーディネーターの現状と課題	香川県	2025年1月
看護学科	木戸久美子	2024	日本母性衛生学会市民公開講座講演	妊娠中からの「父親産後うつ」のスクリーニングと介入の課題	東京都	2025年1月
看護学科	多田羅光美	2024	日本精神科病院協会香川県支部看護部長会研修会	倫理的観点から日常の看護を考えてみようー倫理原則を学ぼうー	香川県	2025年2月

所属	研究者	年度	研究会・研修会の名称	講演タイトル	開催地	開催日
看護学科	土岐弘美	2024	介護労働安定センター香川県支部 ケアサポ ート研修	認知症ケアについて	香川県	2025年2月
看護学科	土岐弘美	2024	多度津町認知症サポーターステツプアップ講 座	認知症の人の気持ちを理解する	香川県	2025年2月
看護学科	植村裕子	2024	いのちのせんせい	たいせつないのち さぬき市立造田小学校2年 生	香川県	2025年2月
看護学科	藤村保志花	2024	こそだて広場かめぼよ子育て講座	穏やかな気持ちでこどもとかかわるために	香川県	2025年2月
看護学科	片山陽子	2024	高松市在宅医療コーディネーター養成研修会	ACPにおけるスキルアップ	香川県	2025年2月
看護学科	片山陽子	2024	三木町在宅医療・介護連携のための多職種研 修会	多職種のためのACP	香川県	2025年2月
看護学科	片山陽子	2024	香川県国民健康保険診療施設職員研修会	病院と地域が連携したACPへの取り組み	香川県	2025年2月
看護学科	辻よしみ	2024	公衆衛生看護学教育評価研究に関する研修会	香川県立保健医療大学実践者養成コース公衆 衛生看護学の概要	愛媛県	2025年3月
看護学科	辻よしみ	2024	小豆ファシリテーション研修（事例検討）	事例検討の基本、事例検討指導	香川県	2025年3月
看護学科	土岐弘美	2024	みとよ市民病院 管理職会議	コンサルテーション	香川県	2025年3月
看護学科	藤村保志花	2024	児童福祉施設等若手職員研修会	円滑に仕事を続けていくために～より良い機 関連携と職員自身のセルフケア～	香川県	2025年3月
看護学科	片山陽子	2024	高松市在宅医療コーディネーター養成研修会 公開講座	食支援	香川県	2025年3月
看護学科	片山陽子	2024	仲多度南部在宅医療介護連携推進事業研修会	在宅医療・ケアにおける意思決定支援を考え る	香川県	2025年3月
臨床検査学科	大栗聖由	2024	徳島神経筋セミナー	脳波の基本と正常バリエーション	徳島県	2024年8月

所属	研究者	年度	研究会・研修会の名称	講演タイトル	開催地	開催日
臨床検査学科	大栗聖由	2024	中国四国医学検査学会	神経伝導検査ハンズオンセミナー	鳥取県	2024年11月
臨床検査学科	大栗聖由	2024	令和6年度愛臨技・四県合同研修会	神経筋超音波検査の基礎と応用 ～神経筋超音波検査の使い方～	愛媛県	2024年12月
臨床検査学科	新美健太	2024	香川県臨床検査技師会令和6年度遺伝子・染色体検査研究班研修会	失敗しない遺伝子検査～汚染防止と精度管理～	香川県	2025年2月

2024年度研究業績（科研費）

所属	研究者	代表者・分担者	分担者の場合は 代表者名	年度	研究課題名	研究種目	新規・継続	交付金額 (円単位)
看護学科	片山陽子	代表者		2024	生活基盤の対象理解と目標志向型実践力を育むICTを活用した教育プログラムの開発	基盤B	継続	4,600,000
看護学科	辻よしみ	分担者	片山陽子	2024	生活基盤の対象理解と目標志向型実践力を育むICTを活用した教育プログラムの開発	基盤B	継続	100,000
看護学科	岡田麻里	分担者	片山陽子	2024	生活基盤の対象理解と目標志向型実践力を育むICTを活用した教育プログラムの開発	基盤B	継続	100,000
看護学科	片山陽子	分担者	長江弘子	2024	行政と協働した日本型対話促進ACPモデルによる教育的介入と社会スキームの実装	基盤B	継続	100,000
看護学科	竹内千夏	代表者		2024	回復期にある高齢脳血管疾患患者への看護師のシームレスケア実践ガイドラインの開発	基盤C	継続	400,000
看護学科	辻よしみ	代表者		2024	遠隔研修による新任期保健師の実践能力獲得のプロセス	基盤C	継続	500,000
看護学科	横溝珠実	代表者		2024	「気になる妊産婦」のとらえ方と虐待予防連携	基盤C	継続	103,139
看護学科	土岐弘美	代表者		2024	軽度認知症の人の自己を支えるケアガイドラインの開発	基盤C	継続	-
看護学科	小野 美穂	代表者		2024	ピアサポートを活用した「患者の体験知を医療に生かすケアシステム」の構築	基盤C	継続	910,000
看護学科	木戸久美子	代表者		2024	母親のゲートキープリングへの介入ー妊娠期から始める産後うつ病予防の効果検証ー	基盤C	継続	910,000
看護学科	土岐弘美	分担者	中平洋子	2024	地域包括ケアに対応する精神障がい者の家族の家族レジリエンスを促す支援モデルの開発	基盤C	継続	-
看護学科	土岐弘美	分担者	田井雅子	2024	認知症の人と家族の家族の伴走を支援する家族看護援助モデルの開発	基盤C	継続	-
看護学科	小野 美穂	分担者	上田 伊佐子	2024	「女性ががんサバイバー心理的適応アシスト・アプリ」を活用した看護介入プログラムの開発	基盤C	継続	50,000

所属	研究者	代表者・分担者	分担者の場合は 代表者名	年度	研究課題名	研究種目	新規・継続	交付金額 (円単位)
看護学科	岡田麻里	分担者	小出恵子	2024	優先順位に基づく保健活動を推進するスクラップ&ビルド 実践ガイドライン	基盤C	継続	50,000
看護学科	岡田麻里	分担者	尾形由起子	2024	退職住民の看取り・看取られ力量形成のためのプログラム 開発－看取り文化の醸成に向けて－	基盤C	継続	30,000
看護学科	多田羅光美	代表者		2024	リカバリー概念に基づくAYA世代精神障がい者の生涯発達を踏 まえた地域生活支援の検討	若手	継続	300,000
看護学科	森田公美子	代表者		2024	多発性骨髄腫患者の喪失への適応と支援する外来看護モデ ルの構築	若手	継続	300,000
看護学科	岡田麻里	分担者	仁科祐子	2024	若手訪問看護師の自律性を育成するための全国若手ナース 実践共有型学修システム構築	基盤B	新規	100,000
看護学科	岩本 真紀	代表者		2024	外来がん薬物療法を受けるがんサバイバーのストレングス 看護介入モデルの開発と評価	基盤C	新規	780,000
看護学科	枝川 千鶴子	代表者		2024	在宅移行初期に医療的ケア児の体調管理をする家族のアセ スメント支援シートの実用化	基盤C	新規	1,040,000
看護学科	多田羅光美	分担者	松岡純子	2024	精神障害をもつ人のパーソナルリカバリーを促進する地域 精神看護の対話実践モデル	基盤C	新規	50,000
看護学科	小野 美穂	分担者	安酸 史子	2024	臨地実習指導者が必要とする教育力向上のための研修プロ グラムの開発及び効果検証	基盤C	新規	250,000
看護学科	片山陽子	分担者	酒井昌子	2024	高齢心不全患者の望む生活と最期を支える訪問看護師 の 判断と実践の明確化	基盤C	新規	100,000
臨床検査学科	末澤千草	代表者		2024	緑膿菌による腸管経由内因性血液感染機構の解析とそれに 基づいた防止策の考案	基盤C	継続	1,170,000
臨床検査学科	奥田 潤	分担者	末澤 千草	2024	緑膿菌による腸管経由内因性血液感染機構の解析とそれに 基づいた防止策の考案	基盤C	継続	200,000
臨床検査学科	新美 健太	分担者	古山 達雄	2024	リンパ管内皮細胞におけるFOXO1のFerroptosis調節への関与	基盤C	継続	2,210,000
臨床検査学科	新美 健太	代表者		2024	血管新生における転写抑制因子Blimp1の機能解析	若手	継続	1,430,000

所属	研究者	代表者・分担者	分担者の場合は 代表者名	年度	研究課題名	研究種目	新規・継続	交付金額 (円単位)
臨床検査学科	大栗 聖由	代表者		2024	社会実装のための機械学習を用いた急性脳症自動鑑別診断法の開発	若手	継続	800,000
臨床検査学科	奥田 潤	代表者		2024	緑膿菌エフェクターによる未知の細胞障害機構の解明と内因性血液感染新規予防法の開発	基盤C	新規	910,000
臨床検査学科	徳原康哲	代表者		2024	新規発色反応を利用した簡易迅速なトリプトファン自動測定法の開発と臨床応用	基盤C	新規	1,300,000
臨床検査学科	末澤千草	分担者	奥田潤	2024	緑膿菌エフェクターによる未知の細胞障害機構の解明と内因性血液感染新規予防法の開発	基盤C	新規	105,000
臨床検査学科	森西 起也	代表者		2024	Fenofibrateを用いた大腸癌の抗腫瘍作用に関する新たなアプローチ	若手	新規	1,800,000

2024年度研究業績（その他助成金）

所属	研究者	年度	助成金の名称	区分	新規・継続	研究課題名	補助金額 (円単位)
臨床検査学科	近藤 明宏	2024	公益信託エム・アイ・ユー財団記念基金	その他の助成金	新規	全身性エリテマトーデス患者の病態評価に向けたプレプシン産生メカニズムと測定意義の解明	500,000
臨床検査学科	新美 健太	2024	公益信託エム・アイ・ユー財団記念基金	その他の助成金	新規	母乳中の過酸化脂質が仔の小腸絨毛中心リンパ管の発生に与える影響の解析	500,000
臨床検査学科	森西 起也	2024	公益信託エム・アイ・ユー財団記念基金	その他の助成金	新規	Fenofibrateを用いた大腸癌の抗腫瘍作用に関する新たなアプローチ	500,000

2024年度研究業績（共同研究（学外））

所属	研究者	年度	研究題目	共同研究先	開始年度
看護学科	片山陽子	2024	Exploring the Lived Experiences of Older Adults Living at Risk: Living Alone at Home Socially Isolated with Serious Illness and/or Frailty without Appropriate Support in Canada and Japan	University of Victoria	2022
看護学科	多田羅光美	2024	地域移行・地域定着の支援を強化するための取り組み	医療法人社団光風会 三光病院	2024
看護学科	竹内千夏	2024	退院後に在宅療養している脳血管疾患患者の自己管理に関する研究	かがわ総合リハビリテーション病院	2024
臨床検査学科	大栗 聖由	2024	機械学習を利用した自己組織化マップによる急性脳症の早期診断および予後予測法の開発	鳥取大学医学部脳神経小児科	2019
臨床検査学科	池亀彰茂	2024	プレセプシン産生の分子細胞学的機序および影響因子の解明	PHC株式会社	2020
臨床検査学科	大栗 聖由	2024	神経筋疾患患者における神経筋超音波検査を用いた新規評価法の確立に関する臨床研究	香川大学医学部小児科	2022
臨床検査学科	徳原康哲	2024	新規発色反応を利用した簡易迅速なトリプトファン自動測定法の開発と臨床応用	徳島文理大学薬学部	2024

2024年度研究業績（審議会委員等）

所属	研究者	委員・役員等の名称	就任期間
看護学科	植村裕子	香川母性衛生学会 幹事	2006年4月～
看護学科	植村裕子	香川母性衛生学会 査読委員	2013年4月～
看護学科	片山陽子	高松市在宅医療介護連携推進会議委員	2013年4月～
看護学科	多田羅光美	日本精神科看護協会香川県支部幹事	2013年6月～
看護学科	片山陽子	NP0法人Japan Academy of Integrated Care理事	2015年9月～
看護学科	土岐 弘美	高松市初期集中支援委員	2016年4月1日～
看護学科	片山陽子	一般社団法人オマハシステムジャパン理事	2016年8月～
看護学科	片山陽子	日本老年医学会評議員・倫理委員会エントドオブライフケア委員	2017年1月～
看護学科	片山陽子	日本看護研究学会評議員	2017年5月～2025年3月31日
看護学科	片山陽子	日本エントドオブライフケア学会理事・ACP推進委員会委員長・査読委員	2018年10月～
看護学科	辻よしみ	健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会	2018年4月～
看護学科	岩本真紀	高知県立大学看護学会誌 査読委員	2018年4月～
看護学科	土岐 弘美	香川県若年性認知症支援コーディネート事業アドバイザー	2018年4月1日～
看護学科	辻よしみ	さぬき市在宅・介護連携推進協議会副委員長	2019年4月～
看護学科	木戸久美子	日本助産学会専任査読委員	2019年4月～
看護学科	片山陽子	日本在宅医療連合学会評議員・多職種連携委員会委員・研究委員会委員・和文英文雑誌査読委員	2019年5月～
看護学科	片山陽子	高齢者の低栄養防止コンソーシアム香川委員	2019年9月～
看護学科	木戸久美子	香川母性衛生 理事	2020年12月～
看護学科	土岐 弘美	高知女子大学看護学会誌 査読委員	2020年3月1日～
看護学科	横溝珠実	浅口市介護認定審査会委員	2020年4月～
看護学科	岩本真紀	香川大学看護学雑誌 査読委員	2020年4月～
看護学科	森田公美子	香川県ナースセンター事業運営委員会委員	2020年4月～
看護学科	土岐 弘美	日本精神保健看護学会誌 査読委員	2021年11月1日～

所属	研究者	委員・役員等の名称	就任期間
看護学科	木戸久美子	香川母性衛生学会 査読委員	2021年4月～
看護学科	土岐 弘美	さぬき男介護友の会顧問	2021年4月1日～2025年3月31日
看護学科	片山陽子	日本看護科学学会査読委員	2021年6月～
看護学科	片山陽子	Geriatrics Gerontology International査読委員	2021年6月～
看護学科	片山陽子	日本プライマリケア連合学会看護部会委員	2022年11月～
看護学科	片山陽子	日本医療研究開発機構AMED研究課題評価委員	2022年12月～
看護学科	辻よしみ	高松市表彰審査委員会	2022年4月～
看護学科	横溝珠実	倉敷人権擁護委員協議会委員	2022年4月～
看護学科	多田羅光美	医療法人社団光風会三光病院 教育・看護研究指導	2022年4月～
看護学科	木戸久美子	香川県医療安全推進委員	2022年4月～
看護学科	木戸久美子	四国看護研究学会 理事	2022年4月～
看護学科	木戸久美子	日本看護学会 専任査読委員	2022年4月～
看護学科	岡田麻里	日本エンドオブライフケア学会・ACP推進委員会委員	2022年4月～
看護学科	岡田麻里	日本在宅医療連合学会第6回地域フォーラム四国・事務局長	2022年4月～2024年10月
看護学科	片山陽子	杉浦記念財団地域振興研究助成選考委員	2023年10月～
看護学科	片山陽子	全国老人保健施設協会研修委員会委員	2023年10月～
看護学科	片山陽子	日本看護協会学会企画委員会委員	2023年11月～
看護学科	片山陽子	香川県感染症対策・在宅医療の取り組みに関するWG	2023年12月～
看護学科	枝川千鶴子	社会福祉法人かがわ総合リハビリテーション事業団評議員	2023年4月～
看護学科	枝川千鶴子	香川県小児保健協会理事	2023年4月～
看護学科	横溝珠実	東讃保健福祉事務所健康づくり推進協議会委員	2023年4月～
看護学科	横溝珠実	日本看護系大学協議会災害支援対策委員会四国ブロック委員	2023年4月～
看護学科	横溝珠実	第53回日本女性心身医学会学会学術集会運営委員	2023年4月～
看護学科	横溝珠実	第7回日本不育症学会学術集会運営委員	2023年4月～

所属	研究者	委員・役員等の名称	就任期間
看護学科	植村裕子	第53回日本女性心身医学会学術集会実行委員	2023年4月～
看護学科	竹内千夏	日本リハビリテーション看護学会 査読委員	2023年4月～
看護学科	木戸久美子	第53回日本女性心身医学会学術集会実行委員	2023年4月～
看護学科	片山陽子	香川県看護協会認定看護師教育課程入試委員会委員	2023年4月～2025年3月
看護学科	土岐 弘美	香川県認知症施策推進会議委員	2023年4月～2025年3月31日
看護学科	土岐弘美, 森田公美子	香川県専門看護師委員会事務局	2023年4月1日～2025年3月31日
看護学科	岡田麻里	日本ルーラルナースिंग学会・評議員	2023年5月～
看護学科	岡田麻里	日本ルーラルナースING学会・編集委員	2023年5月～
看護学科	辻よしみ	第30回日本子ども虐待防止学会実行委員	2023年5月～2025年3月
看護学科	片山陽子	日本在宅ケア学会副理事長・査読委員	2023年6月～
看護学科	辻よしみ	全国保健師教育機関協議会中国、四国ブロック理事	2023年6月～2025年6月
看護学科	藤村保志花	全国保健師教育機関協議会中国、四国ブロック会計	2023年6月～2025年6月
看護学科	枝川千鶴子	日本重症心身障害学会 学会誌編集委員	2024年12月～
看護学科	植村裕子	第25回香川母性衛生学術集会実行委員会	2024年3月～2025年3月
看護学科	植村裕子	高松市男女共同参画推進懇談会委員	2024年4月～
看護学科	横溝珠実	高松市健康づくり推進懇談会委員	2024年4月～
看護学科	多田羅光美	医療法人社団光風会三光病院倫理委員会委員	2024年4月～
看護学科	植村裕子	高松市男女共同参画推進懇談会委員	2024年4月～
看護学科	木戸久美子	日本助産学会 代議員	2024年4月～
看護学科	枝川千鶴子	香川県小児救急電話相談事業協議会委員	2024年4月1日～2026年3月31日
看護学科	枝川千鶴子	香川県看護協会 認定看護管理者教育運営委員会委員	2024年6月～
看護学科	多田羅光美	神戸看護学会査読委員	2024年6月～
看護学科	岩本真紀	香川県看護協会 学会委員会委員	2024年6月～
看護学科	岡田麻里	日本在宅ケア学会・査読委員	2024年7月～

所属	研究者	委員・役員等の名称	就任期間
看護学科	岡田麻里	日本在宅ケア学会・広報委員	2024年7月～
看護学科	枝川千鶴子	香川県障害者施策推進協議会委員	2024年8月～
看護学科	土岐 弘美	Journal of International Nursing Research 査読委員	2024年8月～11月
看護学科	岡田麻里	日本エンドオブライフケア学会・査読委員	2024年9月～
臨床検査学科	近藤明宏	香川県臨床検査技師会 外部精度管理調査精度管理委員（血液部門）	2016年4月1日～
臨床検査学科	岡田仁	香川県小児保健協会理事	2022年～
臨床検査学科	岡田仁	香川県小児科学会香川地方会副会長	2022年～
臨床検査学科	徳原康哲	日本臨床検査医学会 国際委員会委員	2022年3月～
臨床検査学科	新美健太	香川県臨床検査技師会学術部遺伝子染色体検査研究班副班長	2022年4月～
臨床検査学科	岡田仁	香川県自立支援協議会医療的ケア部会委員	2023年～
臨床検査学科	岡田仁	小児薬物療法認定薬剤師試験問題作成委員会	2023年～
臨床検査学科	徳原康哲	日本臨床化学会 評議員	2023年4月～
臨床検査学科	徳原康哲	日本臨床検査学教育協議会 編集委員会委員	2023年5月～
臨床検査学科	徳原康哲	日本臨床検査同学院 試験実行委員	2023年9月～2024年8月
臨床検査学科	徳原康哲	日本臨床化学会四国支部 幹事	2025年2月～

2024年度研究業績（動物実験学生実習）

所属	研究者	年度	研究課題名	実習名
臨床検査学科	新美健太	2024	マウスの解剖	生物学実験

12. 管理運営

1) 運営会議

回	日 時	審議事項
1	令和6年4月17日	1 学則等の改正（自己点検・評価委員会の廃止）について 2 教員募集要項（臨床検査学科 教授 病理検査学他）について
2	令和6年5月13日	1 香川県立保健医療大学学則等の改正について 2 教員募集要項（看護学科 教授または准教授 基礎看護学）について 3 教員募集要項（看護学科 教授 母性・助産看護学）について
3	令和6年6月19日	1 教員選考委員会の組織、運営等に関する要綱の改正について 2 教員募集要項（看護学科 助教 在宅看護学）について 3 香川県立保健医療大学中期ビジョンについて 4 臨床検査学科報告 5 大学院博士後期課程出願資格審査要綱の改正について
4	令和6年8月7日	1 大学認証評価について 2 教員募集要項（看護学科 母性看護・助産学 助教）について 3 香川県立保健医療大学中期ビジョンについて 4 勤務時間の割振り変更について 5 臨床検査学専攻報告 6 ハラスメント研修について
5	令和6年10月16日	1 大学認証評価について 2 大学院修了者アンケート結果とDPの検証について 3 IR推進室の設置について
6	令和6年11月6日	1 入学者選抜方法の変更について 2 個人情報の取扱いについて
7	令和6年12月18日	1 令和8年度大学院入試・推薦入試の日程変更について 2 成績評価異議申立てに関する要項（案）について 3 研究科「研究指導計画」に関する申合せ（案）について
8	令和7年2月5日	1 2026（令和8）年度及び2027（令和9）年度入学者選抜試験における変更について 2 2026年度（2025年4月～2026年3月実施）入学試験実施計画（案）について
9	令和7年2月19日	1 2026（令和8）年度及び2027（令和9）年度入学者選抜試験における変更について 2 2026年度（2025年4月～2026年3月実施）入学試験実

回	日 時	審議事項
		施計画（案）について 3 香川県立保健医療大学個人情報保護規程（案）について 4 学修成果の評価に関する方針（案）について 5 香川県立保健医療大学IR推進室設置規程（案）について
1 1	令和7年3月19日	1 看護学分野別評価について

2) 教授会

【定例教授会】

回	日 時	審議事項
1	令和6年4月3日	1 復学願について 2 授業料等の減免について
2	令和6年4月17日	1 名誉教授の称号授与について 2 教員募集要項について 3 令和6年度前期授業料の納付猶予申請について 4 学生団体設立願について
3	令和6年5月8日	1 令和7年度のカリキュラム変更について（臨床検査学科） 2 骨髄バンクドナー適合にかかる公休の取扱いについて 3 臨地教授等の称号授与及び臨地実習指導者委嘱について 4 非常勤講師の選考について 5 ティーチングアシスタントの配置について 6 令和7年度入学試験における出願手続きの変更について 7 2025年度（2024年度実施）の大学入学者選抜本学の方針について 8 2025（令和7）年度入学者選抜要項について
4	令和6年5月22日	1 香川県立保健医療大学学則等の改正について 2 教員募集要項（看護学科 教授または准教授 基礎看護学）について 3 教員募集要項（看護学科 教授 母性・助産看護学）について 4 大学機関別認証評価について 5 学生団体設立願について
5	令和6年6月5日	1 実習指導助手の任用（新規）について 2 前期非常勤講師の交代について 3 授業料の減免等に関する基準について 4 共同研究の実施について
6	令和6年6月19日	1 教員選考委員会の組織、運営等に関する要綱の改正について 2 教員募集要項（看護学科 助教 在宅看護学）について 3 教員の再任について

回	日 時	審議事項
		4 前期授業料等減免の決定について
7	令和6年7月3日	1 教員募集要項（看護学科 教授 基礎看護学）について
8	令和6年7月17日	1 教員（臨床検査学科教授 病理検査学）の選考について 2 令和6年度前期授業料等の減免の決定について
9	令和6年8月7日	1 教員募集要項（看護学科 母性看護学・助産学 助教）について
10	令和6年9月4日	1 教員（看護学科 母性看護学・助産学 教授）の選考について 2 復学願について 3 休学願について 4 退学願について 5 令和7年度学校推薦型選抜実施要領について 6 令和7年度学校推薦型選抜学生募集要項について 7 令和7年度一般選抜試験実施要領について 8 令和7年度一般選抜試験学生募集要項について
11	令和6年10月2日	1 教員募集要項（看護学科 母性看護学・助産学 助教）について 2 復学願について 3 高等教育の修学支援新制度に基づく授業料減免について
12	令和6年10月16日	1 教員（看護学科 基礎看護学 教授）の選考について 2 後期授業料の減免等について
13	令和6年11月6日	1 令和7年度非常勤講師の任用について 2 入学者選抜方法の変更について 3 2025（令和7）年度学校推薦型選抜入学試験説明会配布資料について 4 入学試験 採点基準・採点表について 5 合否判定会議規程の一部改正について
14	令和6年11月20日	1 令和6年度後期授業料減免等について
15	令和6年12月4日	1 教員（看護学科）の昇任について 2 教員（臨床検査学科）の昇任について 3 令和7年度非常勤講師について
16	令和6年12月18日	1 成績評価異議申立てに関する要項（案）について 2 後期授業料減免等について
17	令和7年1月8日	1 学則の一部改正について
18	令和7年1月22日	1 令和7年度非常勤講師の任用（追加）について 2 後期授業料の減免等について
19	令和7年2月5日	1 休学願について 2 卒業・修了判定について 3 令和7年度実習指導助手について

回	日 時	審議事項
		4 学長賞について 5 令和7年度一般選抜試験実施要領の変更について 6 受験上の特別な措置について 7 2026（令和8）年度及び2027（令和9）年度入学者選抜試験における変更について 8 2026年度（2025年4月～2026年3月実施）入学試験実施計画（案）について 9 学生募集要項等の一部変更について
20	令和7年2月19日	1 2026（令和8）年度及び2027（令和9）年度入学者選抜試験における変更について 2 2026年度（2025年4月～2026年3月実施）入学試験実施計画（案）について 3 令和6年度第2回評議会資料について
21	令和7年3月5日	1 令和6年度進級判定について 2 退学願について 3 復学願について 4 休学願について 5 令和7年度実習指導助手について 6 進級基準等の改正について 7 香川県立保健医療大学授業科目履修規程の改正について 8 2025（令和7）年度一般選抜入学試験（後期）説明会資料について
22	令和7年3月19日	なし

【臨時教授会】

回	日 時	審議事項
1	令和6年12月11日	1 2025（令和7）年度学校推薦型選抜入学試験の合否判定について
2	令和7年2月10日	1 2025(令和7)年度学校推薦型選抜入学試験（臨床検査学科：最終合格）の合否判定について 2 2025(令和7)年度一般選抜入学試験 説明会配布資料について
3	令和7年2月27日	1 令和7年度一般選抜入学試験（前期日程）の合否判定について
4	令和7年3月17日	1 令和7年度一般選抜入学試験（後期日程）の合否判定について

3) 研究科委員会

【定例研究科委員会】

回	日 時	審議事項
1	令和6年4月3日	1 修了生の奨学金 業績優秀者返還免除候補者の推薦について 2 修士論文研究計画書の審査結果について 3 実践者養成コースの研究指導教員について
2	令和6年5月8日	1 修士論文研究計画書の審査結果について 2 2025（令和7）年度入学者選抜方法等の概要について 3 2025（令和7）年度入学試験実施要領について
3	令和6年6月5日	1 研究科担当教員等の選考について
4	令和6年9月4日	1 実践者養成コース 研究指導教員及び課題研究論文題目について 2 ティーチングアシスタント（追加分）の選考について 3 大学院学生募集要項について
5	令和6年9月4日	1 復学願について 2 休学願について 3 大学院後期課程出願資格審査規程の一部改正について
6	令和6年10月2日	1 休学願について 2 大学院入学試験出願資格審査について 3 大学院入学試験説明会配布資料について
7	令和6年11月6日	1 長期履修について 2 博士論文研究計画書審査委員の選出について 3 修士論文研究計画審査に関する申し合わせ事項の一部改正について 4 研究科担当教員資格審査における申し合わせ事項について
8	令和6年12月4日	1 研究科担当教員資格審査における申し合わせ事項について 2 博士論文予備審査委員の選出について 3 課題研究論文審査に係る論文審査委員選出について 4 修士論文研究計画書に係る研究計画審査委員の選出について 5 令和7年度非常勤講師選考調書について 6 令和7年度非常勤講師について
9	令和7年1月8日	1 「研究指導計画」に関する申合せについて 2 研究科担当教員資格審査の結果について 3 看護学専攻博士前期課程 実践者養成コースの修了判定について 4 博士論文予備審査の審査結果について 5 課題研究論文の審査結果について

回	日 時	審議事項
		6 修士論文研究計画書の審査結果について 7 令和7年度非常勤講師選考調書（追加）について
10	令和7年2月5日	1 課題研究論文審査に係る論文審査委員の選出について 2 3月修了修士論文審査委員の選出について 3 長期履修について 4 休学願について 5 復学願について 6 令和7年度実習指導助手について
11	令和7年3月5日	1 研究科担当教員資格審査の結果について 2 復学願について 3 大学院修士学位審査規程等の改正について 4 課題研究審査基準について 5 令和7年度実習指導助手について 6 ティーチングアシスタントの選考について 7 大学院実践者養成コースの課題研究における実践研究（実践報告）に関する倫理審査手順について（案）

【臨時研究科委員会】

回	日 時	審議事項
1	令和6年4月17日	1 令和6年度 研究指導教員及び論文題目について
2	令和6年5月22日	1 香川県立保健医療大学学則等の改正について
3	令和6年10月30日	1 2025（令和7）年度 大学院博士前期課程・研究コース（看護学専攻）入学試験に関する合否判定について 2 2025（令和7）年度 大学院博士後期課程（看護学専攻）入学試験に関する合否判定について 3 2025（令和7）年度 大学院博士前期課程・実践者養成コース公衆衛生看護学（看護学専攻）入学試験に関する合否判定について 4 2025（令和7）年度 大学院博士前期課程・実践者養成コース助産学（看護学専攻）入学試験に関する合否判定について 5 2025（令和7）年度 大学院博士前期課程（臨床検査学専攻）入学試験に関する合否判定について 6 2025（令和7）年度 大学院博士後期課程（臨床検査学専攻）入学試験に関する合否判定について
4	令和7年1月22日	1 令和6年度保健医療学研究科3月修了修士論文審査委員の選出について 2 令和6年度保健医療学研究科3月修了博士論文審査委員の選出について
5	令和7年2月10日	1 課題研究論文の審査結果について

		2 看護学専攻博士前期課程 実践者養成コースの修了判定について
6	令和7年2月19日	1 3月修了修士論文の審査結果について 2 3月修了博士論文の審査結果について 3 令和6年度大学院3月修了判定について
7	令和7年3月19日	1 課題研究論文研究計画書の審査結果について 2 看護学専攻研究指導教員の変更にかかる論文題目一覧について

4) 学内委員会

【総務企画委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和6年5月13日	1 大学認証評価にかかる点検評価ポートフォリオについて
2	令和7年3月21日	1 香川県立保健医療大学構内駐車要綱の改正について

【毒劇物等・廃棄物専門委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和6年5月17日	1 毒劇物等の管理等委任簿の確認について 2 毒劇物等の定期検査の実施について 3 廃液等の処理について 4 有害物質使用特定施設定期点検について 5 その他

【動物実験専門委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和7年3月13日	1 動物実験計画書について 2 その他

【遺伝子組換え実験安全委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和6年4月16日	1 遺伝子組換え実験計画申請について
2	令和6年4月24日	1 遺伝子組換え実験計画申請について
3	令和6年10月10日	1 遺伝子組換え実験計画申請について
4	令和6年12月19日	1 遺伝子組換え実験計画申請について

【教務委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和6年4月22日	1 令和6年度教務委員会の目的・目標、活動内容の設定について

回	日 時	審議・報告事項
		2 年間計画について 3 令和6年度前期履修登録について 4 臨地教授等の称号授与及び臨地実習指導者委嘱について 5 令和6年度後期非常勤講師の追加について（臨検2年生「環境・食品検査学実習」） 6 臨床検査学科授業科目表（令和7年度入学生）について 7 ティーチングアシスタント配置希望科目申請書について
2	令和6年5月28日	1 令和6年度実習指導助手の任用について（新規） 2 令和6年度前期非常勤講師の交代について（臨検1年生「社会福祉学」） 3 令和6年度前期試験点数配信及び後期履修登録について 4 特別講義について 5 非常勤講師定年について 6 シラバス記載要領について 7 実習関連科目単位を落とした場合の実習受講可否取扱いについて
3	令和6年6月25日	1 後期教科書販売について 2 特別講義について 3 令和6年度前期試験について 4 次年度シラバスの書式について（確定） 5 令和7年度学年暦（案）について
4	令和6年7月23日	1 ポートフォリオについて 2 次年度オリエンテーション日程について（草案） 3 後期履修登録状況について（途中報告） 4 追試験受験願について
5	令和6年8月27日	1 前期試験状況について（途中報告） 2 令和6年度後期履修登録の状況について 3 特別講義について 4 復学願について 5 休学願について 6 退学願について
6	令和6年9月24日	1 令和6年度下半期教務関係スケジュールについて 2 令和7年度時間割について 3 令和7年度シラバスについて 4 令和7年度単位互換科目（通常科目）の照会について 5 特別講義について 6 令和6年度卒業式及び令和7年度入学式の日程について 7 復学願について
7	令和6年10月29日	1 令和6年度後期履修登録の状況について

回	日 時	審議・報告事項
		2 令和7年度単位互換開講科目について 3 特別講義について 4 聴講生の取扱いについて 5 次年度オリエンテーション日程について（草案） 6 令和7年度非常勤講師の任用について（看護4年「看護政策論」、「看護学概論Ⅲ」）
8	令和6年11月26日	1 卒業・修了判定及び進級判定の日程について 2 学長賞候補予備選考について 3 令和7年度非常勤講師一覧について 4 新年度ガイダンスについて 5 学生の個人情報取り扱いに関する同意について
9	令和6年12月24日	1 卒業式・修了式について 2 令和7年度教科書販売について 3 新年度ガイダンスについて（最終） 4 ティーチングアシスタント配置希望科目申請書について 5 臨床検査学科カリキュラム（令和7年度以降入学生）施行に伴う学則の改正について 6 健康食品管理士養成校認定更新について 7 特別講義について 8 学外授業について 9 学長賞選考に関する申し合わせ事項の改正について 10 学生の個人情報取り扱いに関する同意について
10	令和7年1月28日	1 令和7年度実習指導助手の任用について（継続） 2 卒業判定について 3 学長賞（成績優秀者本選考）について 4 休学願について 5 特別講義について 6 令和7年度入学式について 7 令和7年度新入生ガイダンスについて（学内探索） 8 令和7年度学年暦について 9 学生の個人情報取り扱いに関する同意について
11	令和7年2月26日	1 令和7年度実習指導助手の任用について（新規） 2 令和7年度履修登録について 3 令和7年度時間割について（最終確認） 4 特別講義について 5 期末試験実施状況について 6 進級判定について 7 退学願について 8 進級基準等の改正について

回	日 時	審議・報告事項
		9 香川県立保健医療大学授業科目履修規程改正について
1 2	令和7年3月25日	1 令和7年度入学式について（最終確認） 2 新入生ガイダンス時に配布する資料について 3 ポートフォリオについて 4 次年度教務委員会年間計画について 5 学生の個人情報取り扱いに関する同意について 6 特別講義について

【学生委員会】

回	年月日	審議・報告事項
1	令和6年4月19日	1 学生委員会活動計画書（令和6年度・令和7年度）について 2 学生委員会の主な用務事項の主担当について 3 後援会だよりについて 4 健康診断・内科検診の実施状況の報告について 5 新入生研修会及び新入生交流会の報告について 6 新入生ダイダンスの報告について 7 令和5年度保健室利用状況の報告について 8 令和5年度学生相談の報告について 9 学生・教職員連絡会議について 10 食堂に関する今後の方針について 11 後援会会員からの声について 12 その他
2	令和6年6月3日	1 授業料等の減免等に関する基準について 2 学生団体（サークル）について 3 大学祭について 4 食糧支援について 5 グランドの駐車場利用等について 6 その他
3	令和6年9月18日	1 令和6年度授業料減免について 2 大学祭について 3 後援会実施の卒業記念事業について 4 令和6年度DV予防啓発講演会について 5 保健室運営（シーツ交換等）について 6 次年度の学生健康診断の実施方法について 7 後援会費の検討について 8 ポートフォリオ用のバインダーの変更について 9 その他
4	令和6年12月12日	1 令和6年度後期授業料減免について

		2 学長賞について 3 学生・教職員連絡会議の開催について 4 新入生研修会・交流会について 5 新入生ガイダンスについて 6 学生便覧について 7 後期会費未納学生への対応について 8 令和6年度DV防止啓発講演会の実施状況について(報告) 9 令和7年度球技大会について 10 その他
5	令和7年2月28日	1 令和7年度からの多子世帯支援拡充について 2 学生・教職員連絡会議における学生からの要望への回答について 3 新入生ガイダンスについて 4 新入生研修会・交流会について 5 食堂について 6 今年度のまとめ 7 その他

【入試委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和6年4月26日	1 令和7年度入学試験における出願手続きの変更について 2 2025年度の大学入学者選抜について 3 2025年度入学者選抜要項について 4 2025年度 大学院入学者選抜方法等の概要について 5 2025年度 大学院入学試験実施要領について 6 令和7年度入試に係る担当教員について 7 入学試験における各種委員選任等の時期変更について 8 3親等以内の親族の受験予定について 9 令和5年度進学ガイダンス等の実施状況について 10 令和6年度・令和7年度入試委員会活動計画について
2	令和6年5月23日	1 令和7年度入学試験における出願手続きの変更について
3	令和6年6月28日	1 大学院学生募集要項について 2 大学入学者選抜における男子枠の設置について 3 2025年度入学試験実施計画について 4 1年生アンケートについて 5 2025年度入学者選抜要項の印刷中止について
4	令和6年8月30日	1 2025年度 学校推薦型選抜実施要領について 2 2025年度 学校推薦型選抜学生募集要項について 3 2025年度 一般選抜実施要領について 4 2025年度 一般選抜学生募集要項について

回	日 時	審議・報告事項
		5 大学院博士後期課程 出願資格審査規程等の一部改正
5	令和6年9月 25 日	1 2025 年度 大学院入学試験説明会配布資料について 2 2027 年度入学者選抜試験における変更について 3 2025 年度入学試験実施計画等の日程変更について
6	令和6年11月 1 日	1 2025 年度 学校推薦型選抜入学試験説明会配付資料について 2 入学者選抜試験における変更について 3 採点基準・採点票について 4 香川県立保健医療大学合否判定会議規程について
7	令和7年1月 22 日	1 一般選抜入学試験(前期・後期日程)説明会について 2 2025 年度一般選抜入学試験における在校生及び受験生への対応について 3 2026 年度入学試験実施計画(案)について 4 過去問題の閲覧について(令和7年度) 5 入学者選抜試験における変更について 6 中央教育審議会のガイドラインを踏まえた募集要項等の一部変更について 7 一般選抜試験における受験上特別な措置について 8 入学試験合格者(臨床検査科学)への入学前教育について
8	令和7年2月 17 日	1 入学者選抜試験における変更について

【図書委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和 6 年 5 月 16 日	1 令和6年度委員会年間計画について 2 図書館資料収集方針について 3 令和6年度選書について 4 新規データベースの購入について 5 指定図書の希望購入冊数と金額の上限について 6 文献取寄せ費用とオープンアクセス促進費の補助について 7 令和6年度図書館内業務分担の紹介について 8 令和5年度決算・令和6年度予算について 9 令和5年度蔵書（閉架）点検作業結果報告 10 図書館利用統計について 11 令和5年度図書サークルビブリア活動報告について 12 図書館・図書サークルのInstagramでの発信について 13 令和6年度オープンキャンパスについて 14 令和6年度新聞の購入、提供について

		15 第16巻 大学雑誌編集スケジュールについて 16 第16巻 投稿予定者調査について 17 原稿提出時と査読時のペーパーレス化について 18 投稿数について 19 本学リポジトリの活用について
2	令和6年7月4日	1 視聴覚資料1件の除籍について 2 視聴覚資料・洋図書のリクエスト受付について 3 蔵書点検アルバイトの採用について 4 指定図書の希望購入冊数と金額の上限について 5 Medlineの中止の可能性と中止した場合について 6 和雑誌利用統計について 7 令和5年度卒業生アンケートについて 8 令和6年度図書サークルビブリア活動計画について 9 令和6年度オープンキャンパスについて 10 廃棄本の提供結果について 11 令和8年度からの図書館新システムについて 12 大学雑誌編集スケジュールと提出方法について 13 「香川県立保健医療大学雑誌原稿執筆要領」等の改定について 14 第16巻 投稿予定調査結果について
3	令和6年9月5日	1 令和7（2025）年度データベースの購入について 2 Medlineの中止の可能性と中止した場合について 3 令和7（2025）年度予算について 4 令和8（2026）年4月からのOPAC公開について 5 令和6（2024）年度図書館開館カレンダーの変更について 6 蔵書点検（開架）作業報告について 7 オープンキャンパスの図書館の状況について 8 図書サークルビブリアの活動について 9 視聴覚資料・洋図書のリクエスト受付について 10 和雑誌の製本日程について 11 大学雑誌第16巻編集スケジュールについて 12 査読に関する指針、編集委員体裁チェックの対象となる事項について 13 大学雑誌第16巻査読者・編集委員体裁チェック者の決定について 14 英語原稿における、引用した英語タイトルのない日本語文献の記載方法について 15 「香川県立保健医療大学雑誌原稿執筆要領」の改定について

		16 本文言語ではない言語のタイトルについて 17 文献欄の記載順について
4	令和6年12月12日	1 令和7年度新聞・雑誌の購入について 2 令和6年度除籍対象資料について 3 卒業生・修了生対象の利用者アンケートについて 4 図書館システムの国立情報学研究所（NII）等との通信障害について 5 図書館システムの再延長とMedline with full text購入中止後の対応の変更について 6 令和6年度図書館開館カレンダーの変更について 7 図書サークル・ビブリアの活動について 8 個人学習室2の扉の不具合について 9 大学雑誌第16巻掲載順について 10 リポジトリ運用指針の周知について 11 大学雑誌第16巻体裁について 12 英語原稿における、英語タイトルのない日本語文献の記載方法について 13 「香川県立保健医療大学雑誌原稿執筆要領」の改定について 14 「香川県立保健医療大学雑誌査読に関する指針」の改定について 15 大学雑誌大16巻進捗状況について 16 本学の所属、住所等の英語表記について
5	令和7年2月7日	1 令和7（2025）年度の雑誌の購入について 2 令和7年度図書館開館カレンダーについて 3 図書館所蔵資料の除籍と廃棄までの手順について 4 2/3(月)からの図書館開館時間について 5 R7年度の指定図書について 6 図書サークル・ビブリアの活動について 7 個人学習室2の扉の不具合について 8 閉架書庫の蔵書点検について 9 令和7年度図書館が実施するガイダンスや文献検索講座について 10 リポジトリ運用指針の周知について 11 香川県立保健医療大学雑誌原稿執筆要領の改定について 12 香川県立保健医療大学雑誌査読に関する指針の改定について 13 大学雑誌第16巻進捗状況について 14 本学の英語表記について

6	令和7年3月4日	1 令和7年度図書館開館カレンダーについて 2 VHS廃棄後空白となった書架について 3 除籍資料について 4 図書サークル・ビブリアの活動について 5 令和7年度図書館が実施するガイダンスや文献検索講座について 6 執筆要領通り記載されていないものに関して 7 大学雑誌第16巻進捗状況について 8 本学の英語表記について 10 令和6年度の振り返りと次年度に向けての課題
---	----------	---

【情報ネットワーク委員会】なし

【FD・SD委員会】

回	年月日	審議・報告事項
1	令和6年4月8日	1 活動目的・内容について 2 令和6・7年度活動計画について 3 研修内容の検討について 4 令和6年度前期授業評価について 5 その他
2	令和6年7月11日	1 FD・SD講演会の役割分担の決定 2 授業評価の回収率を上げる方法の検討について 3 授業評価の質問項目の検討について 4 ティータイム教育サークルの開催時期・講師の検討 5 その他
3	令和6年8月21日	1 授業評価について 2 ハラスメント研修について 3 教員相互の講義参観について 4 その他
4	令和6年11月14日	1 令和6年度ティータイム教育サークルについて 2 授業評価（前期）の振り返り及び今後の検討について 3 ハラスメント研修の受講状況について 4 その他
5	令和7年1月17日	1 授業評価の回収率を上げる方法の検討について 2 ティータイム教育サークルについて 3 令和7年度SPOD講師派遣事業の検討について 4 ハラスメント研修の実施報告について 5 その他
6	令和7年2月28日	1 ティータイム教育サークルの振り返りについて
7	令和7年3月14日	1 授業評価のチラシ（案）の検討について

【広報・公開講座委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和6年4月10日	1 令和6年度年間活動方針、広報計画及び年間行事予定表について 2 高等学校の先生方への大学紹介・入試説明会の開催計画について 3 オープンキャンパスの開催計画について 4 公開講座の開催計画について 5 その他
2	令和6年5月16日	1 高等学校の先生方への大学紹介・入試説明会の開催計画について 2 公開講座の開催計画について 3 オープンキャンパスの開催計画について 4 大学ホームページの運用に関する取り決め事項について 5 その他
3	令和6年6月20日	1 オープンキャンパスの開催について 2 公開講座の開催について 3 広報誌 HANDs vol. 33 について 4 ミニオープンキャンパスの開催について 5 大学Instagramの開設について 6 その他
4	令和6年9月5日	1 ミニオープンキャンパスの開催について 2 高等学校の先生方への大学紹介・入試説明会の開催報告について 3 オープンキャンパスの開催報告について 4 第1回公開講座の開催報告について 5 第2回公開講座の開催について 6 その他
5	令和6年11月25日	1 令和7年度オープンキャンパスの看護学科・臨床検査学科別日開催について 2 ミニオープンキャンパスの開催報告について 3 第2回公開講座の開催報告について 4 令和7年度広報計画について 5 その他
6	令和7年2月6日	1 進学ガイダンス等の参加状況について 2 令和7年度オープンキャンパスについて 3 令和6年度広報計画の振り返りと令和7年度広報計画(案)について 4 令和7年度行事日程(案)について 5 その他

【研究委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和6年4月19日	1 共同研究費・特別研究奨励費の配分について 2 e-ラーニングについて 3 科学研究費助成事業について 4 学内研究報告会について

		5 活動計画について
2	令和6年7月26日	1 共同研究費の配分について

【国際交流委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和6年4月22日	1 令和6・7年度国際交流委員会活動計画について 2 国際交流特別講義について
2	令和6年5月27日	1 令和6年度 国際交流特別講義について 2 令和7年度 国際交流特別講演会について 3 国際交流イベントについて 4 海外研修の紹介・掲示について
3	令和7年2月28日	1 令和7年度 国際交流特別講演会について 2 同窓会による大学支援費を利用する事業について 3 令和7年度実施イベントについて 4 Proquest 英語データベースについて

【三大学連携推進委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和6年4月18日	1 令和6・7年度 活動計画について 2 令和6年度 事業実施について

【進路支援委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和6年4月30日	1 令和6・7年度進路支援委員会活動計画書について 2 令和6年度年間計画について 3 看護学科 卒業生との交流会について 4 県内就職促進について 5 その他 ホームページの更新について 研修会担当の振り分けについて
2	令和7年3月13日	1 令和6年度年間計画実施報告 (1) 令和6年度進路支援委員会活動報告 (2) 研修報告 2 令和6年度の進路内定状況 3 令和7年度年間計画案 4 その他 後援会からの予算について 看護学科1～3年生面談結果報告・年間面談件数報告

【倫理審査委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和6年4月23日	1 倫理審査申請書の審査について
2	令和6年5月28日	1 倫理審査申請書の審査について 2 修士論文・博士論文にかかる研究の倫理審査申請書の申請者、研究責任者の記述について
3	令和6年7月23日	1 倫理審査申請書の審査について
4	令和6年9月24日	1 倫理審査申請書の審査について
5	令和6年11月26日	1 倫理審査申請書の審査について
6	令和7年1月28日	1 倫理審査申請書の審査について
7	令和7年2月26日	1 倫理審査申請書の審査について 2 令和7年度 倫理審査委員会・利益相反審査委員会開催日程について

【利益相反審査委員会】 開催なし

【衛生委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和6年5月22日	1 健康診断結果について 2 ストレスチェック集団分析結果について 3 委員会の運営及び年間計画について 4 職場巡視について 5 ヘルスアップセミナー講師派遣事業について
2	令和6年5月	1 職場巡視実施結果報告（4月分）
3	令和6年6月	1 職場巡視実施結果報告（5月分）
4	令和6年7月	1 職場巡視実施結果報告（6月分）
5	令和6年7月24日	1 衛生委員による職場巡視
6	令和6年8月	1 職場巡視実施結果報告（7月分）
7	令和6年9月	1 職場巡視実施結果報告（8月分）
8	令和6年9月18日	1 ヘルスアップセミナー
9	令和6年10月	1 職場巡視実施結果報告（9月分）
10	令和6年11月	1 職場巡視実施結果報告（10月分）
11	令和6年12月	1 職場巡視実施結果報告（11月分）
12	令和7年1月	1 職場巡視実施結果報告（12月分）
13	令和7年2月	1 職場巡視実施結果報告（1月分）
14	令和7年3月	1 職場巡視実施結果報告（2月分）

【防火等管理委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和6年11月1日	1 令和5年度防災訓練の実施内容について

		2 消防計画書について 3 その他
--	--	----------------------

【地域連携推進センター運営委員会】

回	年月日	審議・報告事項
1	令和6年4月25日	1 地域連携推進センター活動計画書（令和6年度・令和7年度）について 2 令和5年度実績報告について 3 採択事業について 4 担当割り当てについて 5 健康サポーター養成講座について 6 その他
2	令和6年5月22日	1 令和6年度地域連携推進センター事業担当表について 2 健康サポーター養成講座の内容および健康サポーターの募集について 3 ライフサイエンス教室について 4 その他
3	令和6年6月27日	1 健康サポーターのグループ分け（案）について 2 ライフサイエンス教室について 3 いきいき健康広場について 4 その他
4	令和6年8月2日	1 健康サポーター養成講座の振り返り 2 サイエンス教室（8月10日）の運営・準備状況 3 いきいき健康広場（8月20日）の運営・準備状況 4 その他
5	令和6年8月10日	1 サイエンス教室の振り返り 2 いきいき健康広場（8月20日）の運営・準備状況
6	令和6年8月20日	1 いきいき健康広場の振り返り 2 その他
7	令和6年11月16日	1 橄欖祭に向けた各グループの企画の進捗状況について 2 その他
8	令和6年12月18日	1 採択事業の追加募集について 2 地域連携推進センターの物品確認について 3 フィールド活動の実施報告について 4 その他
9	令和7年2月7日	1 地域連携推進センターの物品確認について 2 その他
10	令和7年3月17日	1 令和7年度いきいき健康広場について 2 令和6年度事業報告について 3 令和6年度センター事業及びフィールド活動の振り返り

		について 4 令和7年度採択事業について 5 その他
--	--	----------------------------------

【研究科専門委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和6年4月15日	1 令和6年度 研究指導教員及び修士・博士論文題目について 2 令和6年度 修士論文中間報告会に関する実施要領 3 特別講義について 4 その他
2	令和6年5月1日	1 研究計画書の審査結果について 2 令和6年度 課題研究論文中間報告会に関する実施要領について 3 令和6年度 修士論文報告会について 4 その他
3	令和6年6月27日	1 令和6年度実践者養成コース研究指導教員・課題研究論文題目について 2 研究科専門委員会報告事項について ・臨床検査学専攻学術セミナーについて ・前期の採点登録及び後期の履修登録期間について 3 その他
4	令和6年7月25日	1 大学院博士後期課程出願資格審査規程等の改正について 2 その他
5	令和6年8月28日	1 復学願について 2 休学願について 3 特別講義について 4 令和6年度博士学位取得までのスケジュールについて 5 その他
6	令和6年10月30日	1 博士論文研究計画書審査委員の選出について 2 保健医療学研究科修士論文研究計画書に関する申し合わせ事項の改正について 3 香川県立保健医療大学大学院研究科担当教員資格審査における申し合わせ事項について 4 特別講義について 5 第6回看護学専攻博士後期課程学術セミナーについて 6 研究科専門委員会報告事項について 7 長期履修について 8 その他

		事務連絡 ・来年度非常勤講師の見直しについて ・第2回研究科担当教員資格審査の開催について
7	令和6年11月26日	1 博士論文予備審査委員の選出について 2 課題研究論文審査委員の選出について 3 修士論文研究計画審査委員の選出について 4 令和7年度非常勤講師の委嘱について 5 令和6年度課題研究論文発表会（最終試験）実施要領について 6 特別講義について 7 その他
8	令和6年12月18日	1 修士論文研究計画書の審査結果について 2 ティーチング・アシスタントの配置希望科目について 3 令和7年度大学院非常勤講師の追加委嘱について 4 保健医療学研究科3月修了論文発表会（最終試験）要領について 5 その他
9	令和7年1月15日	1 長期履修について 2 令和6年度 保健医療学研究科3月修了修士論文審査委員の選出について 3 令和6年度 保健医療学研究科3月修了博士論文審査委員の選出について 4 令和7年度保健医療学研究科 授業科目について 5 その他
10	令和7年1月30日	1 令和6年度保健医療学研究科看護学専攻課題研究論文審査委員の選出について 2 令和6年度保健医療学研究科3月修了修士論文審査委員の選出について 3 長期履修について 4 休学について 5 復学について 6 その他
11	令和7年2月12日	1 大学院修士学位審査規程等の改正について 2 特別講義について 3 その他
12	令和7年2月27日	1 令和6年度特に優れた業績による返還免除候補者の推薦について 2 令和7年度実習指導助手の任用について 3 保健医療学研究科学位審査規程等の改正について

		4 令和7年度保健医療学研究科授業科目一覧表について 5 令和7年度保健医療学研究科オリエンテーション日程表について 6 課題研究論文審査基準について 7 特別講義について 8 復学について 9 その他
13	令和7年3月19日	1 課題研究論文研究計画書の審査結果について 2 看護学専攻 研究指導教員の変更に係る論文題目について 3 特別講義について 4 その他